

# ふくさき町の教育

福崎町教育委員会  
事務事業点検・評価報告書  
(令和元年度事業分)

令和2年 12月

福崎町教育委員会

<目 次>

I	はじめに	1
II	実施方針	2
III	事務事業点検・評価表	3

学校教育課

(1)	就学前の子育て支援事業	4～20
(2)	教育委員会事業	21～23
(3)	学校関係事業	24～36
(4)	給食センター事業	70～73

社会教育課

(5)	社会教育事業	37～42、54～57
(6)	芸術・文化事業	42～46、48～52
(7)	図書館事業	46～48
(8)	文化財事業	57～66
(9)	社会体育事業	53～54、66～70、73～79
IV	学識経験者の意見	80
V	参考資料	87
	■平成31年度福崎町教育の努力目標	88
	■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱	93

## I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和元年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様はこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ 実施方針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

### 1 趣 旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

### 2 実施方法

- ア 点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。
- イ 点検及び評価は、毎年度1回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとし、
- ウ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は1年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。
- エ 教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。
- オ 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。
- カ 教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとします。

### 3 実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

# Ⅲ 事務事業点検・評価表

### 3. 民 生 費

住民生活に密着したサービスを提供するために要した経費で、保健、医療、福祉と連携し、高齢者や障がい者等「住民誰もが心豊かに安心して暮らせる町づくり」に努めました。今後も少子高齢化に対応するため実情に応じた福祉サービスを行い、住民誰もがより良い日常生活を継続できるよう支援していきます。

また、認定こども園では、子どもの健やかな育ちと豊かな人間形成が可能となるよう、就学前教育・保育の充実を図りました。

防犯面では、福崎町防犯指導委員会によるパトロールやキャンペーンを実施し、住民の防犯意識の高揚を図り、安全安心に暮らせる町づくりの推進に努めました。

1次評価：A

#### (2) 児童福祉費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	1.児童福祉総務費	42,302,000円	41,703,712円	598,288円

児童の健全な育成のため、障がいのある児童に対して年金の支給、障がいのある児童及び母子・父子家庭への就学援助、赤ちゃん誕生祝記念品として「あかちゃん日記」等の贈呈をしました。

令和2年度から令和6年度を計画期間とする「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定し、今後5年間の子ども・子育て支援に関する事業の目標を設定しました。また、令和元年10月から開始した幼児教育・保育の無償化実施のため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進	子育て相談業務の充実 包括的・継続的な相談支援体制の構築
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
◆ 取組内容	地域全体で支える子育ての推進	経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続

#### 事業名／子ども子育て支援事業(学校教育課)

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆ 取組内容	第2期子ども・子育て支援事業計画の策定	
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	

#### ◆事業内容(目的・必要性)

令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間とする「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。また、制度改正に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

#### ◆事業の成果

「福崎町子ども・子育て会議」を年3回開催し、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」の内容について協議を重ね、計画を策定しました。子ども・子育て支援システムの改修を行い、令和元年10月から開始した幼児教育・保育の無償化に対応しました。

#### ■福崎町子ども・子育て会議

○委員構成 15名

・子どもの保護者 5名

- ・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 5名
- ・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 5名

○会議開催 3回（令和元年9月5日・令和元年10月31日・令和元年12月23日）

■子ども・子育て支援システム改修

○業務の内容

子ども・子育て支援新制度システム保守業務委託	1,561,752円
子ども・子育て支援新制度システム幼児教育無償化対応業務委託	2,200,000円
子ども・子育て支援新制度システム公定価格マスターデータ追加設定委託料	165,000円

○業務委託業者 (株) さくらケーシーエス

■計画策定業務

○業務の内容

福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画策定業務委託	1,235,300円
---------------------------	------------

○業務委託業者 (株) グリーンエコ

□効果・達成度

「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定し、令和2年度から5年間の子育て支援施策の目標を設定することができました。子ども・子育て支援システムの改修を行うことで、令和元年10月から開始した幼児教育・保育の無償化に対応し、子育て世帯の経済的負担軽減に寄与しました。

□課題・改善

計画の進捗について子ども・子育て会議の場において、点検・見直しを行い、計画に沿った事業を展開していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,900,000	7,577,197	3,865,799			3,711,398

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	3. 保 育 所 費	10,738,000 <sup>円</sup>	10,278,220 <sup>円</sup>	459,780 <sup>円</sup>

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童の費用について、該当する私立保育所、公立保育所、私立小規模保育事業所の設置者に対して支出した費用です。

**事業名／町外公立保育所委託事業、町外私立保育所委託事業、町外小規模保育所委託事業**

◆事業内容(目的・必要性)

施設の利用を委託した町外私立保育所、町外公立保育所、町外小規模保育事業所へ委託料を支払いました。

◆事業の成果

■町外私立保育所 (単位：円)

	委託料
姫路保育園イーグレ分園	155,680
延命保育園	120,020
富田保育所	445,780
北条保育園	520,360
神崎保育園	6,076,500
寺前保育所	774,430
計	8,092,770

■町外公立保育所 (単位：円)

	委託料
豊富保育所	584,250

■町外小規模保育事業所 (単位：円)

	委託料
ちびっこランドらくえん	1,601,200

□効果・達成度

町外私立保育所、町外公立保育所、町外小規模保育事業所へ委託料の支払を行い、各施設の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も町外保育所等への適正な予算執行に努めていきます。

■保育所等年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名	定員	利用延べ児童数	利用状況				
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児	
姫路市	豊富保育所	120	10	0	10	0	0
	姫路保育園イーグレ分園	30	1	0	1	0	0
	延命保育園	90	2	0	0	1	1
加西市	富田保育所	120	7	0	0	7	0
	北条保育園	130	12	0	0	0	12
神河町	神崎保育園	90	42	21	9	12	0
	寺前保育所	40	5	0	5	0	0
多可町	ちびっこランドらくえん	9	8	0	8	0	0
合計			87	21	33	20	13

予算額	決算額	財源内訳 (単位：円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,738,000	10,278,220	6,099,145		1,445,930	2,733,145

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	4.認定こども園費	520,475,000 <sup>円</sup>	511,217,141 <sup>円</sup>	9,257,859 <sup>円</sup>

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。

主な支出は、職員20名、嘱託・臨時職員18名に係る人件費、アルバイト保育教諭賃金、私立認定こども園



及び町外公立認定こども園への施設型給付費、事務費等です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	① 就学前教育・保育の充実
◆ 取組内容	安心して子育てができる保育サービスの提供 必要な保育教諭数の確保	食育の推進、基本的生活習慣の確立 就学前教育から学校教育への円滑な接続
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	② 環境の整備
◆ 取組内容	旧園舎部分の長寿命化整備	年齢構成に対応した園舎の改修
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	① 子どもの健やかな成長支援
◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 地域ぐるみでの子育てサポートの推進	子育て世代と多世代間交流事業の推進 経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	② 子育て家庭への支援
◆ 取組内容	地域全体で支える子育ての推進	
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	② 教育・育成の充実
◆ 取組内容	サポートファイルの活用、適切な支援継続	

### 事業名/認定こども園管理費

#### ◆事業内容(目的・必要性)

入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。  
教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会への参加や、職員の計画により研修会を実施しました。

また、児童の安全対策と快適な保育環境づくりのため、施設・設備等の修繕、清掃及び害虫駆除等を行いました。

#### ◆事業の成果

町内公立認定こども園研修会等において、経験豊かな講師による保育実践を中心とした指導研修を実施しました。

また、施設等の不具合部分について修繕及び改修工事等を行いました。

#### ■研修会実施内容

	実施日	内 容
認定こども園 研修会	6月14日	保育環境研修(田原幼稚園での環境設定・援助方法の指導・助言)
	6月22日	公開保育研修(八千種幼稚園での指導・助言及び講義)
	8月10日	保育支援研修(福崎幼稚園での支援方法の指導・助言)
	9月25日	保育環境研修(高岡幼稚園での環境設定・援助方法の指導・助言)
	10月23日	保育環境研修(福崎幼稚園での環境設定・援助方法の指導・助言)
	10月26日	公開保育研修(八千種幼稚園での指導・助言及び講義)

#### ■園医等報酬

・内科医 832,240円 ・歯科医 642,630円 ・薬剤師 168,000円

#### ■修繕関係

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	385,330
八 千 種 幼 児 園	70,265
福 崎 幼 児 園	407,393
高 岡 幼 児 園	101,200
合 計	964,188

#### ■工事関係

・田原幼稚園絵本室及び廊下天窓遮光シート更新  
請負金額：600,000円

請負業者：(株)モリ

・福崎幼稚園安全施設設置工事

請負金額：259,200円

請負業者：兵庫セフティ(株)

■委託料関係

区 分	金 額 (円)
清 掃 委 託 料	269,500
植 木 剪 定 等 委 託 料	153,890
電 気 設 備 管 理 委 託 料	747,660
警 備 委 託 料	564,000
消 防 設 備 点 検 委 託 料	81,000
電 算 機 器 保 守 委 託 料	63,917
実 施 設 計 委 託 料	145,800
施 設 管 理 委 託 料	358,248
合 計	2,384,015

□効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理を行い、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

合同研修は、日頃の教育・保育を省みる機会となり教育・保育の質の向上につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
入所・入園児童数(人)	594	635	699	709	675	730

□課題・改善

低年齢児からの入園が年々増加していることから、保育教諭の確保が課題となっています。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園運営に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
68,422,000	65,304,779	200,440		15,378,528	49,725,811

**事業名/認定こども園事業費**

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら、年齢に応じた教育・保育を実施しました。

特別保育として、午後7時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない1号認定子どもの一時預かり(幼稚園型)事業及び在宅児童の一時預かり(一般型)事業を実施しました。

また、兵庫県が実施する「ひょうご保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の保育料を助成しました。

◆事業の成果

保護者の多様なニーズに対応するため、延長保育事業や一時預かり事業(幼稚園型・一般型)を実施しました。

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、保育料軽減事業補助金を交付しました。

■延長保育事業利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田原	八千種	福崎	高岡	姫学	サルビア	合計
228	15	179	11	733	666	1,832

■一時預かり事業（一般型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田原	姫学	サルビア	合計
0	10	67	77

■一時預かり事業（幼稚園型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田原	八千種	福崎	高岡	姫学	サルビア	合計
514	69	111	2	8	191	895

■保育材料代

園名	金額（円）
田原幼稚園	1,475,046
八千種幼稚園	715,395
福崎幼稚園	1,180,853
高岡幼稚園	237,729
合計	3,609,023

■給食費等賄費

園名	金額（円）
田原幼稚園	4,383,356
八千種幼稚園	1,790,550
福崎幼稚園	3,773,012
高岡幼稚園	595,244
合計	10,542,162

■備品購入状況

園名	金額（円）
田原幼稚園	459,064
八千種幼稚園	171,007
福崎幼稚園	1,007,417
高岡幼稚園	79,596
合計	1,717,084

■ひょうご保育料軽減事業

対象児童数 106人

保育料軽減事業補助金 3,894,800円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

利用者負担額の一部を助成する事で、より多くの世帯の経済的負担の軽減を図ることができ、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進することができました。

□めざそう値

第5次総合計画調査事項	H27	H28	H29	H30	R1
延長保育事業（延べ人数）	1,739	1,742	2,062	2,504	1,832
一時預かり事業【一般型】（延べ人数）	723	283	222	216	77
一時預かり事業【幼稚園型】（延べ人数）	3,658	2,225	1,699	1,255	895

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、利用者が利用しやすい環境づくりを進める必要があります。

■認定こども園年間延べ利用児童数

（単位：人）

施設名	定員	利用延べ児童数	利用状況				
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児	
田原幼稚園	240	2,529 (0)	74 (0)	492 (0)	604 (0)	1,359 (0)	
八千種幼稚園	85	775 (46)	23 (0)	198 (0)	133 (23)	421 (23)	
福崎幼稚園	180	1,922 (42)	60 (0)	345 (11)	477 (15)	1,040 (16)	
高岡幼稚園	45	263 (9)	0 (0)	72 (0)	107 (8)	84 (1)	
姫学こども園	75	760 (99)	27 (7)	218 (57)	202 (11)	313 (24)	
サルビアこども園	105	1,161 (193)	52 (0)	324 (72)	273 (38)	512 (83)	
小計	730	7,410 (389)	236 (7)	1,649 (140)	1,796 (95)	3,729 (147)	
姫路市	萩学園	305	66	6	0	24	36
	姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	193	113	5	11	30	67
	広保峰保育園	195	5	0	0	0	5
	香呂こども園	210	1	0	1	0	0
	山田こども園	70	16	0	8	0	8
加西市	愛の光こども園	115	12	0	0	0	12
	白竜こども園	120	12	0	0	12	0
	賀茂幼稚園	15	9	0	0	9	0
市川町	屋形こども園	80	9	0	9	0	0
	いちかわ西こども園	90	24	0	12	12	0
	いちかわ東こども園	170	24	0	24	0	0
多可町	あさかこども園	105	24	0	12	0	12
播磨町	キューピッドこども園	155	12	0	12	0	0
小計		327	11	89	87	140	
合計		7,737 (389)	247 (7)	1,738 (140)	1,883 (95)	3,869 (147)	

※（ ）内は他市町からの受託児で外数

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
28,068,000	26,252,141	2,775,606		9,067,120	14,409,415

### 事業名／園児送迎バス運行事業

#### ◆事業内容(目的・必要性)

送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。

#### ◆事業の成果

主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る賃金、マイクロバスの維持管理に要した費用です。

#### ■マイクロバス利用者数 (単位:人)

田 原 幼 児 園	1
八 千 種 幼 児 園	1
福 崎 幼 児 園	5
高 岡 幼 児 園	2
サルビアこども園	1
合 計	10

#### □効果・達成度

ニーズのある家庭に対し、よりきめ細やかに対応し、児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

#### □課題・改善

朝夕各1便ずつで運行しており、1台で町内6園全ての保護者の希望に応えていくことが難しいのが現状です。

今後も児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,803,000	3,446,270			263,040	3,183,230

### 事業名／私立認定こども園運営事業、町外公立認定こども園委託事業

#### ◆事業内容(目的・必要性)

私立認定こども園及び町外公立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。

また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実を図りました。

#### ◆事業の成果

#### ■町内私立認定こども園給付費 (単位:円)

	給 付 費
姫 学 こ ど も 園	70,173,250
サルビアこども園	102,603,000
合 計	172,776,250

■町内私立認定こども園補助金

(単位：円)

	姫学こども園	サルビアこども園
調理員補助	4,005,322	4,575,302
パン代補助	105,731	146,034
特別保育等補助金	4,259,870	4,281,070
特別保育料	100,500	309,700
障害児保育補助	0	883,200
合計	8,471,423	10,195,306

■町外私立認定こども園給付費 (単位：円)

	給付費
萩学園	2,791,295
姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	6,577,460
広峰保育園	182,610
愛の光こども園	540,240
白竜こども園	767,580
屋形こども園	1,083,010
あさかこども園	1,579,780
キューピッドこども園	707,900
合計	14,229,875

■町外公立認定こども園給付費 (単位：円)

	給付費
香呂こども園	70,680
山田こども園	1,537,840
賀茂幼児園	1,369,270
いちかわ西こども園	1,570,180
いちかわ東こども園	1,179,160
合計	5,727,130

□効果・達成度

私立認定こども園及び町外公立認定こども園に対して施設型給付費の支払を行い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めていきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
215,317,000	211,399,984	142,168,778		410,200	68,821,006

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	5.子育て支援施設費	25,090,000 <sup>円</sup>	23,270,064 <sup>円</sup>	1,819,936 <sup>円</sup>

核家族化や少子化の進行、地域のつながりの希薄化等により、家族や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆ 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進	子育て相談業務の充実
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
子育て支援事業参加者数（人）	17,072	18,967	20,268	18,975	16,673	21,000

(総合戦略アクションプランK P I : 令和元年度目標 21,000 人)

**事業名／子育て支援センター運営事業（福崎幼稚園内）**

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報、ホームページ等による情報提供を実施しました。保健センターとの連絡を密に行い、産前から施設を利用してもらうよう呼びかけを行いました。また“おひさまらんど”は、子育て親子が集える場として開放すると共に、地域支援活動として地域の公民館に出かけて“すきっぷひろば”を開設し、保護者と子どもの交流促進を図りました。

◆事業の成果

■子育て支援センター事業年間延べ利用者数

おひさまらんど 利用者数	すきっぷひろば 参加者数	その他の事業 参加者数	合 計
4,618人	1,501人	616人	6,735人

■子育て相談件数 878件

■地域支援活動（すきっぷひろば）実施状況

	実施月	開 催 公 民 館 等
前 期	5月	西野・大門・八反田・辻川・文化センター
	6月	田尻・西治・高岡幼稚園・神谷・吉田・八千種幼稚園
	7月	西光寺・新町・南大貫
後 期	10月	保健センター・八千種研修センター・西光寺・新町・中島
	11月	八反田・辻川・図書館・八千種幼稚園・山崎・田尻・文化センター
	12月	南大貫・西治

■その他の事業

実施月	事業内容
4月	公園で遊ぼう（2回）
5月	すきっぷひろば（5カ所）
6月	菅原先生と座談会、すきっぷひろば（6カ所）
7月	ミニコンサート、すきっぷひろば（3カ所）
8月	地域の方とたなばた会
9月	音楽であそぼう（2回）、運動会
10月	福崎幼児園の見学会、菅原先生と座談会、すきっぷひろば（5カ所）
11月	横山先生わらべうた、すきっぷひろば（7カ所）
12月	クリスマス会（3回）、すきっぷひろば（2カ所）
1月	伝承遊び（老人クラブ）、食育のお話と給食試食会
2月	福崎幼児園豆まきに参加、菅原先生と座談会

□効果・達成度

4カ月健診時に施設の周知を行うことで新たな来所者が増え、子育て中の親子の交流が広がりました。保健センターとの連絡を密に行うと共に、おひさま座談会として育児相談会を年3回開き、子育て中の親子の気持ちに寄り添い、悩みを共有することができました。“すきっぷひろば”をミニデイ事業で実施したことで、地域の高齢者との世代間交流と共に、子育て世代と地域とのつながりができました。

□課題・改善

“すきっぷひろば”は、毎回参加者が増えているため、図書館や保健センターなどの大きい施設で事業を展開していきます。また、ミニデイ等の地域との交流の場として開催できるよう、実施内容や参加者の検討を行いながら実施します。

今後も、子育て支援施設の拠点として、様々な事業を進めていきます。

予算額	決算額	財源内訳（単位：円）			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,553,000	2,111,979	1,032,000			1,079,979

事業名／西部子育て学習センター運営事業（文化センター内）

◆事業内容(目的・必要性)

西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て親子の集いの場として提供しました。

「子育て学習講座」では、乳幼児期の子育てについての学習・実習等を開催しました。また、各子育てグループ自らが企画・立案し実施する活動に寄り添い、ともに考え、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。その他、“あそびのひろば”として絵本の読み聞かせやリズム遊びなど、様々な交流の場を提供しました。



◆事業の成果

■西部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

ともだちひろば 利用者数	子育てグループ 活動参加者数	子育て学習講座 参加者数	その他の事業 参加者数	合計
4,080人	1,266人	435人	476人	6,257人

■子育て相談件数 39件

■子育てグループ

- ・3グループ49組98人の親子が参加
- ・グループごとに年間16回活動を実施
- ・全体行事として、はじめましての会、ふれあい運動会、クリスマス会等を実施

■子育て学習講座

実施月	テーマ
7月	ネットに潜む甘い罠、人形劇
10月	わくわく親子うんどうあそび
11月	オータムコンサート
2月	子どものいのちを守る交通安全教室

■あそびのひろば

事業名	内容	実施日
ドレミ	リズムあそび・うたあそびなど	第2木曜日 年10回
ぐりとぐら	絵本の読み聞かせ、わらべうたなど	第1木曜日 年10回

□効果・達成度

49組の子育て親子が年間16回の活動に参加され、子育て中の親子の出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も子育て中の親子の安心して過ごすことが出来る身近な施設として事業を実施し、学びの場・安らぎの場・心のよりどころとなるよう、また町内子育て支援施設との連携強化に努め、子育て支援・応援のできるスタッフの育成に取り組みます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,456,000	2,641,989	1,281,000			1,360,989

事業名／東部子育て学習センター運営事業(田原幼稚園内)

◆事業内容(目的・必要性)

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て親子の集いの場として提供し、子育て講演会の開催や親子遊び、製作遊びなどの事業を定期的実施しました。母子参加の事業だけでなく、多世代交流、家族参加の事業など、父親や祖父母が参加する機会を多く設けました。

◆事業の成果

■東部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

にこにこひろば 利用者数	製作あそび 参加者数	その他の事業 参加者数	合計
2,626人	365人	690人	3,681人

■子育て相談件数 69件

■製作あそび

実施月	テ ー マ
毎月1回	にこにこひろばで作ってあそぼう
6月	手作り教室（おもちゃ作り）
10月	手作り教室（木の実の製作）
3月	手作り教室（子育てグッズ作り）

■その他の事業

実施月	テ ー マ
4月	親子で楽しむミュージカル（家族対象）
5月・9月	子育て講演会
6月	親子体育あそび（父親対象）
7月	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう（祖父母対象）
8月	家族で楽しむ川遊び（家族対象）
10月	いもほり、幼児園見学会
12月	クリスマス会
1月	成長の記録のノート作り
2月	身体をいっぱい使って遊ぼう

□効果・達成度

各月の実施事業に多数の親子の参加があり、子育てについての知識や情報を提供できました。家族参加の事業を通して、母親だけでなく、父親や祖父母についても多くの参加がありました。平成29年度から始めた製作遊びも定着し、毎月一定数の参加がありました。

□課題・改善

今後も「学びの場」、「安らぎの場」、「子育て中の親子の心のよりどころ」として、身近な施設となるよう努めます。また、家族とのふれあいを大切し、父親の積極的な子育て参加を促していきます。そして「子どもの育ち」を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,457,000	1,944,579	947,000			997,579

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	6.学童保育費	17,898,000 <sup>円</sup>	17,631,144 <sup>円</sup>	266,856 <sup>円</sup>

共働き家庭や母子・父子家庭など、学校から帰宅しても誰もいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、学校や地域の協力のもと、福崎小学校の余裕教室を利用した「福崎西部学童保育園」と田原小学校体育館北の「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。

土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。

また、平成28年度から開園時間を午後7時までに1時間延長し、保育内容を充実させています。

放課後子ども教室では、地域の大人との交流、また昔あそびを行うなど、子どもの居場所づくりに努めました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆ 取組内容	学童保育や放課後子ども教室の更なる充実	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討
Ⅱ 教育・文化	2 効率的で効果的な行政運営	②行政サービスの向上
◆ 取組内容	学童保育利用時間延長 ※平成28年度から午後7時まで延長（1時間延長）	

□めざそう値

総合戦略アクションプランKPI	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R1)
学童保育利用者数	216	235	286	327	292	250

### 事業名／福崎西部学童保育園運営事業

#### ◆事業内容(目的・必要性)

福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の余裕教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。

土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。特に利用人数が多い夏期休業期間には福崎地区県民交流広場を借用し、より多くの留守家庭児童の保護・健全育成に努めました。

その他、指定寄附金により書籍を購入し活動内容の充実を図りました。

指導員においては、実務研修への参加により資質向上に努めました。

#### ◆事業の成果

福崎西部学童保育園の運営（月曜日から金曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。

#### ■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数（単位：人）

	平均利用者数	最大利用者数
4月	53(48)	72(57)
5月	48	62
6月	49	61
7月	48(79)	62(86)
8月	(63)	(74)
9月	49	63
10月	43	52
11月	43	55
12月	39(43)	50(49)
1月	36(28)	50(28)
2月	38	48
3月	29(38)	51(41)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

共働き世帯の増加等により利用人数が増加しているため、新たな実施場所の確保について検討が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,499,000	7,484,293	2,251,000		4,475,500	757,793

### 事業名／福崎東部学童保育園運営事業

#### ◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校北の福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。土曜日はセンター方式により町内4小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。

鉄棒の設置工事を行い、環境改善に努めた他、指定寄附金により書籍を購入し活動内容の充実を図りました。

指導員においては、実務研修や放課後児童支援員認定資格研修等への参加により資質向上に努めました。

#### ◆事業の成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。

#### ■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数（単位：人）

	平均利用者数	最大利用者数
4月	56(55)	73(67)
5月	55	67
6月	60	73
7月	53(76)	66(84)
8月	(65)	(75)
9月	57	66
10月	53	62
11月	54	60
12月	46(27)	56(29)
1月	49(31)	60(31)
2月	48	55
3月	35(37)	44(43)

#### □効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

#### □課題・改善

共働き世帯の増加等により利用人数が増加しているため、新たな実施場所の確保について検討が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,016,000	9,793,216	3,142,000		5,159,000	1,492,216

**事業名／田原放課後子ども教室事業****◆事業内容(目的・必要性)**

田原小学校の1年生を対象に、田原小学校の教室において5月～3月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く。）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をしなが、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

**◆事業の成果**

主な支出は、指導員の賃金です。

**■利用状況（実利用人数）（単位：人）**

	1年生
4月	—
5月	29
6月	28
7月	25
8月	—
9月	22
10月	24
11月	25
12月	25
1月	24
2月	24
3月	18
計	244

**□効果・達成度**

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

**□課題・改善**

約1時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
221,000	201,830	152,000			49,830

**事業名／八千種放課後子ども教室事業****◆事業内容(目的・必要性)**

八千種小学校の1年生を対象に、八千種県民交流広場において5月～2月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をしなが、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

**◆事業の成果**

主な支出は、指導員の賃金です。

**■利用状況（実利用人数）（単位：人）**

	1年生
4月	—
5月	19
6月	18
7月	19
8月	—
9月	19
10月	18
11月	19
12月	18
1月	19
2月	19
3月	—
計	168

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約1時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
162,000	151,805	114,000			37,805

## 9. 教 育 費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「大地に根を張り、幹を太らせ、枝を広げ、葉を茂らせ、花を咲かせ、大きく伸びゆく福崎の教育」を基調に、町民みんなが学ぶ福崎町の教育をめざして、知育・徳育・体育・食育の4育を基盤とし、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルールの大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養、ふるさとや伝統文化を大切に思う気持ちを育むこと等、「心の教育」の充実に努めました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	文化資源の学校教育への利活用(ふるさと意識、豊かな人間性)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総 ◆ 取 組 内 容	人権教育の推進、人権意識の高揚	地域交流、郷土愛育成
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総 ◆ 取 組 内 容	サポートファイルの活用、適切な支援継続	

1次評価：A

### (1) 教育総務費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1. 教育総務費	1. 教育委員会費	1,286,000 <sup>円</sup>	1,160,020 <sup>円</sup>	125,980 <sup>円</sup>

地方教育行政全般の運営推進に要した経費で、主な支出は、委員4人にかかる報酬、教育長交際費です。

### 事業名／教育委員会事業

#### ◆事業内容(目的・必要性)

教育委員会において、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応し、きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、教育上の諸問題について審議しました。

教育委員会の会議は、定例会12回を開催しました。

協議内容及び件数は、次のとおりです。

- ・ 条例、規則の制定、改廃に関すること 32件
- ・ 教育関係予算に関すること 1件
- ・ その他協議事項について 5件
- ・ その他報告・連絡事項について 110件

また、町長部局と連携を図り民意を反映させた教育行政を推進するための総合教育会議への出席、民生主任児童委員との意見交換会、学校行事などの視察等を実施したほか、教育委員会研修会や教職員研修会等に積極的に参加しました。

#### ◆事業の成果

教育諸課題並びに情勢をより早く察知し検討するとともに、個々の教育委員が情報収集に努め、より高度な人格形成を目指しました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,286,000	1,160,020				125,980

**1次評価：B**

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1.教育総務費	2.事務局費	71,640,000 <sup>円</sup>	69,869,208 <sup>円</sup>	1,770,792 <sup>円</sup>

教育長、職員3人・嘱託1人に係る人件費、英語指導助手の賃金、旅費及び心を開く親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。

**事業名／事務局一般事務費**

総合計画⇨後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	安全で安心して学べる環境づくり
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
◆ 取 組 内 容	不登校指導員などによる指導体制を維持・発展 学力向上への取り組み	いじめなどの問題への早急かつ適切な対応
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
◆ 取 組 内 容	障がいへの理解に対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置

◆事業内容(目的・必要性)

教育行政の円滑な運営を図りました。

◆事業の成果

不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期対応しました。

教育支援委員会を開催し、支援を要する児童生徒の実態把握及び特別支援学級の入級判定を行いました。

また、学力向上委員会を設置し、方策を検討する等、学力向上に取り組みました。

□効果・達成度

不登校児童生徒に対するきめ細かな対応並びに特別支援学級への適正な入級判定ができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,952,000	8,274,603				8,274,603

**事業名／学校保健安全事業**

◆事業内容(目的・必要性)

学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。



◆事業の成果

健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。

■教職員検診費

学校名 検診名	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
胃腸レントゲン	4	14,712	2	7,356	4	14,712	2	7,356	2	7,356	6	22,068	73,560
心 電 図	18	23,328	8	10,368	19	24,624	9	11,664	11	14,256	16	20,736	104,976
血 液	18	43,686	8	19,416	19	46,113	9	21,843	11	26,697	16	38,832	196,587
H b A 1 c	18	7,776	8	3,456	19	8,208	9	3,888	11	4,752	16	6,912	34,992
胸部撮影	16	22,464	8	11,232	18	25,272	9	12,636	11	15,444	15	21,060	108,108
眼 底	18	27,324	10	10,692	22	26,136	10	11,880	11	13,068	16	19,008	108,108
尿 検 査	18	1,944	9	972	19	2,052	8	864	11	1,188	15	1,620	8,640
診 察	18	11,664	8	5,184	19	12,312	9	5,832	11	7,128	16	10,368	52,488
聴 力	18	1,944	8	864	19	2,052	9	972	11	1,188	16	1,728	8,748
大腸がん	16	16,416	9	9,234	14	14,364	6	6,156	10	10,260	14	14,364	70,794
P S A	2	3,456	1	1,728	3	5,184	1	1,728	2	3,456	3	5,184	20,736
腹 囲	5	1,350	3	810	9	2,430	3	810	5	1,350	6	1,620	8,370
協会健保一般検診	5	20,484	1	9,374	3	12,109	1	4,773	0	0	1	3,750	50,490
追加血液検査	5	3,780	1	756	3	2,268	1	756	0	0	1	756	8,316
計	200,328		91,442		197,836		91,158		106,143		168,006		854,913

■児童・生徒検診費

	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		小 計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
心臓検査	63	106,470	7	11,830	80	135,200	24	40,560	65	109,850	105	177,450	581,360
尿 検 査	431	41,894	57	5,540	487	47,336	131	12,733	213	20,704	322	31,298	159,505
計	148,364		17,370		182,536		53,293		130,554		208,748		740,865

■ストレスチェック委託料 16,632円

(公立学校共済組合員132人(1人90円(税抜))、左記以外の者27人(1人120円(税抜))

ストレスチェックは、一次予防(メンタルヘルス不調の未然防止)を主な目的とし、教職員自身のストレスへの気づきを促すことにより、職場環境の改善につなげるためのものです。平成27年12月から施行された改正労働安全衛生法に基づき、教職員の心の健康のため、平成28年度から導入しました。

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,186,000	1,910,338				1,910,338

**事業名／学校関係事業**

◆事業内容(目的・必要性)

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金に係る事業です。

◆事業の成果

■各種大会等参加費

(単位：円)

学校名	大会名	派遣費用	各学校費用合計
福崎小	第 67 回兵庫リレーカーニバル	4,080	24,232
	第 35 回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選	10,500	
	第 43 回兵庫県小学生陸上競技大会	9,652	
高岡小	第 67 回兵庫リレーカーニバル	2,130	2,130
田原小	第 67 回兵庫リレーカーニバル	13,620	55,922
	第 35 回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選	19,840	
	第 43 回兵庫県小学生陸上競技大会	22,462	
八千種小	第 67 回兵庫リレーカーニバル	2,080	6,832
	第 43 回兵庫県小学生陸上競技大会	4,752	
福崎西中	中播地区中学校総合体育大会	761,720	1,993,277
	NHK 合唱コンクール	193,777	
	兵庫県合唱コンクール	168,340	
	関西合唱コンクール	111,100	
	神崎郡中学校親善大会	15,960	
	中播地区中学校新人大会	470,160	
	兵庫県中学校新人陸上競技大会	11,280	
	神崎郡中学校連合音楽会	52,800	
	近畿地区中学校総合体育大会(陸上競技)	30,380	
	全日本中学校陸上競技選手権大会	77,940	
	ジュニアオリンピック陸上競技大会	90,780	
	理科・数学甲子園ジュニア 2019	9,040	
福崎東中	中播地区中学校総合体育大会	666,196	1,074,602
	兵庫県中学校総合体育大会水泳競技大会	9,420	
	兵庫県中学校総合体育大会陸上競技大会	3,120	
	神崎郡中学校親善大会	41,440	
	中播地区中学校新人大会	314,646	
	神崎郡中学校連合音楽会	33,000	
	理科・数学甲子園ジュニア 2019	6,780	
計			3,156,995

□効果・達成度

児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,170,000	3,952,765				3,952,765

**事業名／国際教育推進事業**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進
◆ 取組内容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	未来の国際化を担う人材の育成
I 地域づくり・行政	3 国際化	②国際交流の推進
◆ 取組内容	国際交流に関する情報の提供	「日本語サロン」など交流の機会づくり、支援・拡充

◆事業内容(目的・必要性)

外国語指導助手(ALT)2人体制のもと、国際理解教育を展開しました。また、外国人児童に対する学習支援員による学習サポートを行いました。ALTの賃金、旅費等に係る事業です。

◆事業の成果

ALTを2人配置し、小中学校の英語教育・国際教育をより充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。

□効果・達成度

生きた英語にふれることで児童及び生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が開かれました。

□めざそう値

総合戦略アクションプランK P I	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R1)
外国語指導助手(ALT)人数	2	2	2	2	2	2

□課題・改善

ALT等の指導能力をさらに高め、より一層国際教育の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,563,000	10,052,049				10,052,049

1次評価：B

(2) 小学校費

項	目	予算現額	支出済額	繰越明許費	不用額
2.小学校費	1.学校管理費	397,223,000円	310,268,279円	54,000,000円	32,954,721円

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託4人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。

事業名/小学校管理事業・小学校校外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
◆ 取組内容	教育環境の向上(情報機器の更新・拡充)	
II 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
◆ 取組内容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目的及び目標達成のための小学校教育を推進しました。

◆事業の成果

心身の発達に応じて小学校で実施する教育の目的を達成するため、合理的な運営を行いました。  
教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

■学校別児童・教員数調べ

R1.5.1現在(単位:人)

学校	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	教員	事務職・ 栄養教諭等
福崎小		63	60	89	63	79	80	434	24	3
高岡小		7	7	11	12	8	12	57	10	3
田原小		80	83	82	85	78	79	487	26	3
八千種小		24	20	24	27	20	16	131	12	2
計		174	170	206	187	185	187	1,109	72	11
30年度		176	203	183	186	185	176	1,109	76	10

■小学校別児童数の推移

学校名	H20	H27	H28	H29	H30	R1
福崎小学校	379	418	412	415	423	434
高岡小学校	84	69	67	67	66	57
田原小学校	511	489	483	474	483	487
八千種小学校	199	159	150	149	137	131
計	1,173	1,135	1,112	1,105	1,109	1,109

■校医等の報酬

内科医(4人)	2,198,490円	定期健康診断、就学前健康診断、マラソン前健康診断他
歯科医(4人)	1,426,020円	
眼科医(1人)	718,600円	
耳鼻科医(2人)	710,050円	
薬剤師(3人)	340,900円	教室の空気環境検査、飲料水・プールの水質検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位:円)

福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
467,485	195,720	145,400	139,700	948,305

■委託料関係

(単位:円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
植木剪定委託料		6,214	9,267	150,000	0	165,481
リソグラフ保守管理委託料		86,454	45,780	90,774	35,970	258,978
清掃委託料		284,000	120,000	0	0	404,000
警備委託料		282,000	282,000	282,000	282,000	1,128,000
電気設備管理委託料		168,380	113,100	177,580	183,780	642,840
貯水槽管理委託料		52,180	70,540	94,300	73,780	290,800
給食用昇降機点検委託料		52,250	66,000	66,000	66,000	250,250
消防設備点検委託料		43,296	43,295	43,296	43,295	173,182
プール循環装置点検委託料		24,840	24,840	24,840	24,840	99,360
エレベーター点検委託料		575,520	—	—	—	575,520
特殊建築物等定期報告委託料		187,000	110,000	132,000	132,000	561,000
小学校体活動事業委託料		1,200,666	595,334	1,200,666	595,334	3,592,000
電算機器保守管理委託料		2,965	2,964	2,965	2,965	11,859
計		2,965,765	1,483,120	2,264,421	1,439,964	8,153,270

※ 特殊建築物等定期調査は、(株) ごとく建築設計事務所に委託し、調査による指摘の概要は、

いずれの小学校も主に経年劣化によるものでした。

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、様々な体験活動をとおして、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業（県補助金）です。令和元年度も兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。町内全小学校5年生185人が2班に分かれ、4泊5日（6/10～6/14）の日程で行い、自然観察、登山、昼食作り、コース別体験等、充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■賃借料

福崎小学校敷地借上料（638.28坪） 1,320,610円

小学校コンピュータ等借上料 24,298,628円

■備品購入関係

国庫補助金等を活用し、教材備品、図書等を購入し、各校の充実を図りました。

また、指定寄附金により福崎小学校にタブレットを2台購入するとともに、郡内企業・団体により各小学校に防犯カメラを寄贈していただきました。

（単位：円）

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	事務局	計
一般備品		456,303	368,380	600,499	103,608	372,600	1,901,390
教材備品		563,139	416,924	951,295	364,943	2,255,810	4,552,111
図書購入費		237,645	149,454	134,082	243,974	14,816	779,971
計		1,257,087	934,758	1,685,876	712,525	2,643,226	7,233,472

■負担金関係 体験農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り） 1人150円

〃（田植え）1人150円 （稲刈り）1人300円

〃（もち麦種まき・もち麦刈取り）1人250円

学校名	いも植え (人)	いも掘り (人)	田植え (人)	稲刈り (人)	もち麦種まき (人)	もち麦刈取り (人)	入園料(円)
福崎小	146	150	79	79	61	86	116,700
高岡小	37	36	20	19			19,650
田原小	84	83	78	78	83	80	100,900
八千種小	95	96	36	36			44,850
計	362	365	213	212	144	166	282,100

□効果・達成度

各学校において、それぞれ必要な備品等を購入し、教育環境をさらに充実させることができました。

自然学校では、5年生が自然の中での長期宿泊体験を通して、豊かな感性や社会性を育む活動を行いました。

□課題・改善

これからも継続して、理科教育設備整備費等補助金等を活用し、備品の整備に努めます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
98,154,000	93,395,448	3,189,600		614,101	89,591,747

**事業名／小学校施設整備・補修事業【平成30年度から繰越】**

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年度の猛暑を受け、国にて創設された「冷房設備対応臨時特例交付金」を活用して、小学校の全普通教室に空調設備を導入するための経費です。

◆事業の成果

小学校4校の普通教室(55教室)への空調設備設置工事を完了しました。

■業務委託料

(単位:円)

業務名	箇所	内容	金額	受託者
学校施設空調設備設置工事監理業務委託	小学校4校	普通教室(55教室)の空調設備設置工事に係る監理業務	2,925,720	(株)鷺尾建築設計事務所

■工事請負費

(単位:円)

工事名	箇所	内容	金額	請負者
学校施設空調設備設置工事	小学校4校	普通教室(55教室)の空調設備設置	185,761,080	テラマエ設備工業(株)

□効果・達成度

令和元年7月から全小学校において空調設備を稼働することができ、夏場の熱中症等に対する児童の安全確保及び学習環境の改善を図ることができました。

□課題・改善

「福崎町立小中学校空調整備運用指針」に基づき、教室現場での体感温度等の状況を継続的に注視し、児童の体調等を考慮したうえで、現場における適切な使用に努めます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
208,500,000	188,686,800	25,898,000	162,750,000		38,800

**事業名／小学校施設整備・補修事業**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	① 教育環境の整備
総	◆ 取組内容	計画的な学校施設の長寿命化

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕、消火器や火災報知設備等消防設備関連器具の更新等を行いました。また、令和2・3年度の2か年で実施する福崎小学校北校舎の長寿命化改良工事に係る実施設計を行いました。

■修繕関係

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各小学校合計
福崎小	体育館ガラス割れ取替修理	83,160	
	長尺シート張替	195,000	
	運動場グレーチング設置	165,240	
	北校舎トイレ修繕（フラッシュバルブ取替）	232,848	
	南校舎堅樋取替	242,000	
	エレベーター修繕（駆動部パッキン更新他）	880,000	1,798,248
高岡小	体育館多目的トイレ修繕（フラッシュバルブ取替）	186,516	186,516
田原小	図書室窓ガラス遮光フィルム貼付	219,000	
	アスレチック遊具修繕	1,254,000	
	吊り輪撤去	99,360	1,572,360
八千種小	プールろ過装置及びドレンバルブ修繕	51,840	
	プール配管洗浄	21,600	
	プールろ過装置洗浄排水可視化修繕	83,160	
	プールテント更新	316,800	
	体育館コートライン塗替	299,750	773,150
合 計			4,330,274

■業務委託料

業 務 名	箇 所	内 容	金 額(円)	受 託 者
福崎小学校北校舎 長寿命化改良工事 実施設計業務委託	福崎小学校 北校舎	福崎小学校北校舎の長 寿命化改良工事に向け た実施設計	9,636,000	(株)小西建築設計 事務所

・その他、八千種小学校 管路漏水調査業務委託 132,000円

■工事請負費

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各小学校合計
高岡小	体育館放送設備更新工事	1,436,400	
	通級教室改築工事	792,000	
	通級教室エアコン設置工事	214,940	2,443,340
八千種小	校舎放送設備更新工事	896,400	896,400
合 計			3,339,740

■備品関係

各小学校消防設備関連器具（更新）購入 696,162円

□効果・達成度

老朽化等して不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。また、福崎小学校北校舎の長寿命化改良工事に係る実施設計が完了し、令和2年度に発注する準備ができました。

□課題・改善

学校生活における安全に寄与するため、不具合が生じている箇所等については修繕することができましたが、今後の老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。また、福崎小学校北校舎においては、令和2年度から2か年かけて実施する長寿命化改良工事が円滑に実施できるよう事務を進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
80,400,000	18,134,176				18,134,176

**事業名／遠野市友好交流事業**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
◆ 取 組 内 容	友好都市である遠野市との交流促進	

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年度から友好都市提携の教育分野事業として第2回「岩手県遠野市と福崎町の児童交流」を実施しました。

◆事業の成果

8月26日から28日まで、福崎町内小学校6年生15人と引率者5人で民俗学の父・柳田國男の著書『遠野物語』の舞台となった遠野市を訪れ、遠野市の人々の知恵や工夫・努力を体感し、異なる地域の文化や暮らしぶりに触れました。児童たちは、遠野市の施設、名所を巡り、防災をはじめとする市の取組を深く理解し感動を得ました。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,603,000	1,490,870			300,000	1,190,870

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.小学校費	2.教育振興費	10,366,000 <sup>円</sup>	8,729,629 <sup>円</sup>	1,636,371 <sup>円</sup>

心身に障がい有する児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

**事業名／小学校教育振興事業、小学校教育振興枠外事業**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
◆ 取 組 内 容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

福崎小 5学級 (知的、自閉症・情緒①②、難聴、肢体)

高岡小 1学級 (知的)

田原小 5学級 (知的、自閉症・情緒①②、弱視、肢体)

八千種小 3学級 (知的、自閉症・情緒、難聴)



■学校別児童数調（特別支援学級）

R1.5.1現在（単位：人）

校名	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
福崎小学校		3	1	10	2	4	1	21
高岡小学校		0	0	0	1	0	1	2
田原小学校		2	7	7	1	2	3	22
八千種小学校		0	1	0	3	2	1	7
計		5	9	17	7	8	6	52

■備品購入費

（単位：円）

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
一般備品		66,506	26,058	0	206,630	299,194
教材備品		287,396	48,913	365,948	70,959	773,216
計		353,902	74,971	365,948	277,589	1,072,410

■就学援助費支給状況

経済的理由等で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

扶 助 内 容	人数(人)	金 額(円)
学 用 品	99	1,163,134
修 学 旅 行	15	306,618
新入学学用品	11	384,200
給 食 費	99	3,386,140
P T A 会 費	52	119,100
卒業アルバム代等費	11	94,196
計	287	5,453,388

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

また令和元年度から卒業アルバム代等費の給付を始めました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
地域スクールヘルパー登録者数	467	428	434	395	354	470

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,366,000	8,729,629	432,000			8,297,629

1次評価：B

(3) 中学校費

項	目	予算現額	支出済額	繰越明許費	不用額
3. 中学校費	1. 学校管理費	192,243,000 <sup>円</sup>	147,817,579 <sup>円</sup>	30,000,000 <sup>円</sup>	14,425,421 <sup>円</sup>

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託2人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。

事業名／中学校管理事業・中学校校外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取組内容	教育環境の向上（情報機器の更新・拡充）	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取組内容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目標及び目的達成のための中学校教育を推進しました。

◆事業の成果

小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて中学校で実施する教育の目的を達成するために合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

■学校別生徒・教職員数調

R 1. 5. 1 現在（単位：人）

校名	学年	1年	2年	3年	計	教員	事務職・用務員
福崎西中学校		65	67	84	216	21	2
福崎東中学校		106	108	114	328	23	2
計		171	175	198	544	44	4
平成30年度		176	198	198	572	48	5

■中学校別生徒数の推移

学校名	H20	H27	H28	H29	H30	R1
福崎西中学校	261	239	235	240	234	216
福崎東中学校	365	334	337	332	338	328
計	626	573	572	572	572	544

■校医等の報酬

内科医（2人）	1,052,660円	定期健康診断、マラソン前健康診断他
歯科医（2人）	642,360円	
眼科医（1人）	353,950円	
耳鼻科医（2人）	352,150円	
薬剤師（2人）	97,400円	教室の空気環境検査、飲料水、プールの水質検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位：円)

福崎西中学校	福崎東中学校	計
737,310	467,092	1,204,402

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福崎西中	福崎東中	計
植 木 剪 定 委 託 料		106,033	0	106,033
リソグラフ保守管理委託料		90,510	86,454	176,964
「トライやる・ウィーク」推進事業委託料		400,000	600,000	1,000,000
清 掃 委 託 料		400,000	0	400,000
警 備 委 託 料		282,000	282,000	564,000
電 気 設 備 管 理 委 託 料		177,580	172,980	350,560
貯 水 槽 管 理 委 託 料		98,620	106,180	204,800
給食用昇降機点検委託料		33,000	33,000	66,000
消 防 設 備 点 検 委 託 料		51,391	51,391	102,782
プ ール 循 環 装 置 点 検 委 託 料		24,840	24,840	49,680
エ レ ベ ー タ 一 点 検 委 託 料		444,720	—	444,720
特殊建築物等定期報告委託料		132,000	132,000	264,000
電 算 機 器 保 守 管 理 委 託 料		2,995	2,995	5,990
計		2,243,689	1,491,840	3,735,529

※ 特殊建築物等定期調査は、(株) ごとく建築設計事務所に委託し、調査による指摘の概要は、いずれの中学校も主に経年劣化によるものでした。

■借上料

中学校コンピュータ等借上料 14,728,984円

■備品購入費関係

国庫補助金等を活用し、教材備品、図書等を購入し、各校の充実を図りました。

区分	校名	福崎西中学校	福崎東中学校	事務局	計
一 般 備 品		892,920	981,078	0	1,873,998
教 材 備 品		142,560	962,318	292,900	1,397,778
図 書 購 入 費		287,247	298,987	0	586,234
計		1,322,727	2,242,383	292,900	3,858,010

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
54,964,000	52,830,625	1,770,000			51,060,625

事業名／中学校施設整備・補修事業【平成30年度から繰越】

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年度の猛暑を受け、国にて創設された「冷房設備対応臨時特例交付金」を活用して、中学校の全普通教室に空調設備を導入するための経費です。

◆事業の成果

中学校2校の全普通教室(23教室)への空調設備設置工事を完了しました。

■業務委託料

(単位：円)

業務名	箇所	内容	金額	受託者
学校施設空調設備設置工事監理業務委託	中学校2校	普通教室(23教室)の空調設備設置工事に係る監理業務	1,329,480	(株)鷺尾建築設計事務所

■工事請負費

(単位：円)

工事名	箇所	内容	金額	請負者
学校施設空調設備設置工事	中学校2校	普通教室(23教室)の空調設備設置	81,891,000	テラマエ設備工業(株)

□効果・達成度

令和元年7月から全中学校において空調設備を稼働することができ、夏場の熱中症等に対する生徒の安全確保及び学習環境の改善を図ることができました。

□課題・改善

「福崎町立小中学校空調整備運用指針」に基づき、教室現場での体感温度等の状況を継続的に注視し、生徒の体調等を考慮したうえで、現場における適切な使用に努めます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
91,500,000	83,220,480	11,763,000	71,450,000		7,480

事業名／中学校施設整備・補修事業

総合計画(後期基本計画)-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	① 教育環境の整備
◆ 取組内容	計画的な学校施設の長寿命化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕、消火器や火災報知設備等消防設備関連器具の更新等を行いました。

■施設補修関係

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各学校合計
福崎西中	放送設備プログラムタイマー取替	298,080	2,396,175
	校舎トイレ修繕（フラッシュバルブ取替）	75,931	
	校庭南側ネットフェンス補修	291,600	
	校舎屋上止水弁バルブ取替	216,604	
	教室床及び技術棟壁修繕	218,160	
	校舎各階止水弁バルブ取替	1,295,800	
福崎東中	駐車場路面修繕	270,000	4,122,660
	受水槽給水バルブ取替	299,160	
	職員室破損壁修繕	124,200	
	校舎トイレ修繕（洗面台排水トラップ取替）	244,740	
	テニスネット支柱更新	483,840	
	体育館屋内天井照明取替	213,840	
	体育館南側屋外照明取替	109,780	
	グラウンド南側フェンス更新	2,377,100	
合 計			6,518,835

- 業務委託料 福崎東中学校 管路漏水調査業務委託 165,000円
- 工事請負費 福崎西中学校 校舎北門カーブミラー設置工事 183,600円
- 備品関係 各中学校消防設備関連器具（更新）購入 549,978円  
サッカーゴール（更新）購入 473,040円

□効果・達成度

老朽化等して不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。

□課題・改善

今後の老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
41,900,000	7,890,453				7,890,453

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
3. 中 学 校 費	2. 教 育 振 興 費	8,800,000 <sup>円</sup>	7,275,074 <sup>円</sup>	1,524,926 <sup>円</sup>

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

事業名／中学校教育振興事業・中学校教育振興枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	② 学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中 2学級（知的、自閉症・情緒）

東中 2学級（知的、自閉症・情緒）

■学校別生徒数調（特別支援学級）

R1 . 5. 1 現在（単位：人）

校名 \ 学年	1年	2年	3年	計
福崎西中学校	0	1	2	3
福崎東中学校	1	6	2	9
計	1	7	4	12

■備品購入費

（単位：円）

区分 \ 校名	福崎西中学校	福崎東中学校	計
一般備品	121,000	304,896	425,896
教材備品	0	0	0
計	121,000	304,896	425,896

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

扶助内容	人数(人)	金額(円)
学用品	50	1,212,399
修学旅行	19	1,135,770
新入学学用品	22	931,000
給食費	50	2,208,134
クラブ活動費	37	437,598
生徒会費	44	34,400
P T A 会費	45	116,400
卒業アルバム代等費	19	165,490
計	286	6,241,191

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な生徒の教育環境を整えることができました。

また令和元年度から卒業アルバム代等費の給付を始めました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予算額	決算額	財源内訳（単位：円）			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,800,000	7,275,074	87,000			7,188,074

## (4) 社会教育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	55,678,000 <sup>円</sup>	54,696,744 <sup>円</sup>	981,256 <sup>円</sup>

生涯学習社会の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
◆ 取組内容	多彩な学習機会を提供	
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	① 生涯学習施設の整備・充実
◆ 取組内容	バリアフリー化の推進	生涯学習の場を広く提供
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	② 情報提供の充実
◆ 取組内容	積極的な情報の提供	幅広い世代への利用促進
Ⅱ 教育・文化	5 生涯学習	③ クラブ活動・学習成果発表の場の充実
◆ 取組内容	誰もが学習できる場と機会の提供	地域社会で生かせるリーダーの養成
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	① 芸術・文化活動の推進
◆ 取組内容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	地域の文化振興

## 事業名／社会教育総務一般事務費

## ◆事業内容(目的・必要性)

社会教育振興のために、行政と地域住民をつなぐ社会教育委員の活動を支援しました。また、成人式や吉識雅夫科学賞を実施し、社会教育の推進に努めました。

## ◆事業の成果

## ■社会教育委員会の活動

## ・社会教育委員会

第1回 6月3日(月)

第2回 12月3日(火)

第3回 3月27日(金)

・中播磨・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会 8月28日(水)

・全国社会教育研究大会(兵庫大会) 10月24日(木)～25日(金)

・中播磨地区社会教育連絡協議会研修会 11月22日(金)

## ■成人式 1月13日(月・祝) 該当者247人中166人の参加

新成人代表10人による実行委員会を組織しました。企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを、実行委員が積極的に進めました。今回はエルデホールが空調工事中であったため、式典会場を文化センターに、アトラクション会場を商工会に変更して実施しました。

・第1部 成人式式典

・第2部 アトラクション(ビンゴゲーム)

## ■第12回吉識雅夫科学賞

吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して、賞を贈りました。

・小学校低中学年の部

吉田 颯 (田原小学校3年生) 作品名「生き物図鑑」

・小学校高学年の部

齋藤 肇 (田原小学校6年生) 作品名「微生物の培養」

・中学校の部

大塚みつき (福崎東中学校2年生) 作品名「発見!梅干パワー」

□効果・達成度

社会教育委員の研修実施や意見を聞き、成人式や吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。令和元年度の成人式式典では、新成人から家族への「感謝」の手紙を、家族から新成人へ「励まし」の手紙を読み上げ、家族への感謝、我が子への愛情がこめられた手紙に会場全体が感動に包まれました。成人式の出席率は約67%でした。吉識雅夫科学賞は、令和元年度で12回目を迎え、地域住民へのさらなる周知を図るため、図書館において、吉識雅夫先生の功績を紹介するコーナーも設け、児童・生徒の研究成果を展示発表しました。

□課題・改善

地域のニーズや課題に対応した事業展開ができるよう、社会教育委員に文化財や施設の視察機会を創出します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,952,000	1,478,709				1,478,709

事業名/地域ぐるみ教育支援事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
◆ 取 組 内 容	地域ヘルパー、スクールヘルパーとの連携	

◆事業内容(目的・必要性)

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、登下校時の見守りや校内巡視、学校から依頼を受けて行った図書貸し出し等の学校支援活動です。

◆事業の成果

■学校支援活動(学校支援地域本部事業)

【ヘルパー活動】

スクールヘルパー … 午前・午後各3～5人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー … 一斉下校時の見守り(1自治会で2～3か所)

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校 (133人)	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校 (47人)	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校 (108人)	毎週月・水・金曜日	週3回
八千種小学校 (72人)	毎週火・木曜日	毎週水曜日

【学校支援ボランティア活動】

支援内容	学校	支援者	実施日	活動場所
図書貸出	八千種小学校	10人	4月23日から毎週月曜～金曜(昼)	図書室



■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

- ・土曜英語教室 小学3・4・5・6年生対象

令和元年6月から令和2年2月までの土曜日 各校区月1回

高岡県民交流広場、福崎県民交流広場、田原県民交流広場、八千種県民交流広場

- ・サマースクール 小学4・5・6年生対象

令和元年7月29日(月)～8月2日(金)

高岡県民交流広場、八千種県民交流広場

令和元年8月5日(月)～9日(金)

福崎県民交流広場、田原県民交流広場

- ・ウィンタースクール 中学3年生対象

令和元年10月19日(土)～令和2年2月29日(土)の土曜日

文化センター、サルビア会館（会場交互で実施）

□効果・達成度

地域ボランティアの支援で、子どもたちの安全確保ができました。活動を通して子どもたちと地域ボランティアがふれあうこともできました。また、学校の休業日・土曜日に、地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また、学習申込者が継続して参加するように、内容を工夫していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,155,000	931,614	366,000			565,614

事業名／青少年健全育成関係事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4. 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	青少年やその家族などへの相談支援
◆ 総 括	積極的な非行防止・環境浄化活動	

◆事業内容(目的・必要性)

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。

◆事業の成果

■青少年問題協議会の開催（年2回）

第1回目 令和元年7月4日（木）

第2回目 令和2年3月2日（月）

■研修会・フェスティバルの開催

- ・人権・青少年健全育成研修会

（区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修）

令和元年5月18日（土） 啓発DVD視聴・青少年愛護条例の概要説明・講話 参加者：94人

- ・人権・青少年健全育成フェスティバル

令和元年12月7日（土） 福崎町文化センター 参加者：300人

(内容) 体験発表 小中学生

講演 演題:「親子のコミュニケーションの大切さ ～子どもの人権を守るために～」

講師:心理カウンセラー 羽林 由鶴 さん

展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語

■青少年健全育成啓発リーフレットの作成(各戸、町内店舗等に配布) 6,300枚 16,250円

■青少年補導委員会活動状況

- ・定例会 10回
- ・街頭補導(下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回、イベント時巡回等)

年度	28年度	29年度	元年度
街頭補導回数	82回	86回	78回

□効果・達成度

研修会、フェスティバル等により、町民の青少年健全育成意識を高めることができました。自治会単位研修会では、学校の先生方の参加により、町民に子どもたちの学校での様子等について知っていただきました。また、啓発リーフレットの作成や啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることができました。

□課題・改善

今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施し、子どもたちの健全な成長を支援していきます。子どもの犯罪被害、ネット依存が減少するよう啓発リーフレットを用いて町民へ周知します。スマートフォン等の利用の低年齢化が進んでいるため、引き続き、小学校におけるインターネット利用に関する基準づくりを支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,835,000	2,773,803				2,773,803

### 事業名/家庭教育学級開設事業

#### ◆事業内容(目的・必要性)

幼稚園(4園)・小学校(4校)・中学校(2校)の保護者会会員・PTA会員を対象に、各保護者会・PTA学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応するため、学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動やスポーツ大会等を1年通して実施しました。

#### ◆事業の成果

##### ■家庭教育学級開設事業(幼稚園・小中学校)

報償費 283,000円

委託料 311,279円

□効果・達成度

学級開設により、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、保護者の子育て力向上を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
640,000	594,279				594,279

### 事業名／各種団体育成事業

#### ◆事業内容(目的・必要性)

社会教育関係団体を育成することを目的とし、自主的な活動を財政的な面から支援しました。主な支出は、町PTA、町文化協会への補助金です。

#### ◆事業の成果

##### ■負担金

- ・神崎郡美術協会負担金 23,000円
- ・神崎郡連合PTA協議会負担金 70,000円

##### ■補助金

- ・福崎町PTA協議会補助金 80,000円
- ・福崎町文化協会補助金 400,000円

##### □効果・達成度

町内及び郡内の社会教育関係団体と連携を図り、各種事業を円滑に実施することができました。

##### □課題・改善

今後も継続して実施し、社会教育活動の活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
573,000	573,000				573,000

### 事業名／こころ豊かな地域づくり推進事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総	◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の推進(地域教育力の向上)

#### ◆事業内容(目的・必要性)

こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成する事業を実施しました。

#### ◆事業の成果

##### ■福崎町ココロクラブ

年間9回(4月～11月・3月の毎月1回)役場及びもちむぎのやかた周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。

##### ■みどりのグループ

年間を通じて、毎月2回、町内の5か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。

##### ■福崎町手芸ボランティア

趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。

##### ■国際食文化交流の会

福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる

環境づくりを進めるため、2か月に1回、料理を通して国際交流を行いました。

■たんぽぽ

子どもや高齢者、障がいのある方々に、お話や簡単な手遊び等で、癒しのひとときを過ごしてもらいました。

□効果・達成度

日本語サロンでは毎月2回学習者のレベル別グループ学習で、ニーズに応えることができたほか、“住みよい町づくり”をめざして、ボランティア会員に大変熱心に取り組んでいただきました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
日本語サロン受講者数(年間)	437	370	658	560	192	700
総合戦略アクションプランKPI	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R1)
日本語サロン平均受講者数(1回当り)	14	14	27	25	9	30

□課題・改善

ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広げて新規会員の加入促進に努めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
390,000	304,356				304,356

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	2. 公民館費	7,255,000 <sup>円</sup>	6,491,993 <sup>円</sup>	763,007 <sup>円</sup>

生涯学習の場の提供、町民が主体的に学習するための講座や教室の開講に要した経費です。

事業名／公民館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総◆取組内容	住民企画事業の実施	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総◆取組内容	誰もが学習できる場と機会の提供	学習成果発表の場の充実(公民館クラブなど)

◆事業内容(目的・必要性)

町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、地域住民に活動の場と交流の機会を提供するため、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行いました。

◆事業の成果

■公民館クラブ活動

### 登録クラブ数及び人数

登録会場名	登録クラブ数(クラブ)	登録人数(人)
文化センター会場	36	358
八千種研修センター会場	18	180
地区会場	24	162
合計	78	700

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会(事務局:文化センター)に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組み、住民の文化の高揚、研さんの場として施設を有意義に利用されました。

### ■文化功績賞

氏名	所属	分野	内容
荒瀬ほのか	町立田原小学校5年生	税に関するポスター	「税に関する書道・ポスター」のポスターの部 兵庫県納税貯蓄組合総連合会会長賞
後藤波来	町立福崎小学校5年生	税に関するポスター	「税に関する書道・ポスター」のポスターの部 兵庫県納税貯蓄組合総連合会会長賞
荒柴央夏	町立福崎小学校5年生	作文	「第69回社会を明るくする運動作文コンテスト」兵庫県更生保護協会理事長賞
福崎西中学校合唱部	町立福崎西中学校	合唱	「第74回関西合唱コンクール」、「2019年度兵庫県合唱コンクール」金賞

### □効果・達成度

町内外の行事やイベントに積極的に参加することで、各クラブの活動の幅が広がりました。

### □課題・改善

公民館クラブ会員の増加、活性化に向けて若年層の利用促進を支援していきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,801,000	1,442,770				1,442,770

### 事業名/老人大学事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総◆ 取組内容	誰もが学習できる場と機会の提供	
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいつくりと社会参加の促進
総◆ 取組内容	活動の場の確保を支援(高齢者の自主的組織)	

### ◆事業内容(目的・必要性)

高齢者がともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的として、老人大学事業を実施しました。

### ◆事業の成果

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず募集しました。

神崎学園(2年制)・福寿学園として2学園制で運営しました。専門講座では、年間20回、園芸(野菜・花き)・陶芸・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・史学・ITの全8コースの講座を行いました。一般教養講座については、年間10回の講演会等を開催し、10月に親睦運動会、11月に老人大学祭を実施しま

した。

■受講生の推移

(単位：人)

	29年度	30年度	元年度
神崎学園	100	101	122
福寿学園	196	199	196
合 計	296	300	318

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、学習の場と交流の機会を提供し、生きがいづくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会の自主的なクラブ活動等も活発になりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
老人大学受講者数	293	296	296	300	318	360

□課題・改善

受講生のニーズを調査し、専門講座の再編等を検討します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,405,000	2,271,823			124,000	2,147,823

事業名／セミナー事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民が現在の生活を見つめ直して、心豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施し、有益な知識や情報を提供しました。

◆事業の成果

■サルビアセミナー

開催回数：10回（うち5回公開講座）

学習テーマ：「もしもの時にそなえる終活」「しきたりにしばられず、スッキリ生きる-家制度を考える-」「天文学講座～宇宙人の存在にせまる～」 「アニメによむ世界史」「カッティングボードクリスマスツリー作り」「明智光秀の生涯」「気軽にできる、お正月用生け花講座」「大人の朗読」等

□効果・達成度

座学だけでなく、参加体験型講座や課外学習も行い、講座の活性化を図りました。

受講生同士の交流も活発になり、新たなコミュニティ形成につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
セミナー受講者数	194	177	178	174	174	220

□課題・改善

受講者の増加に向け、アンケート調査等を実施し、講座内容の創意工夫に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
510,000	405,321			169,380	235,941

### 事業名／美術展事業

#### ◆事業内容(目的・必要性)

優れた芸術作品に親しみ、地域住民の芸術文化への関心を高めるために、第37回福崎町美術展を開催しました。地域に根をおろした内容のある公募美術展として定着し、約600人の来場者がありました。

#### ◆事業の成果

##### ■第37回福崎町美術展

会期：令和元年5月17日（金）～5月19日（日）

会場：エルデホール メインホール

部門及び審査員	日 本 画	安惠隆司
	洋 画	志智 正
	書	岡本正志
	写 真	山岡成男
	彫塑・工芸	大上 巧

美術展応募数・展示数

	29年度	30年度	元年度
応募数(点)	193	195	201
展示数(点)	130	128	130

#### □効果・達成度

町内外から質の高い作品が出展され、日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができました。

#### □課題・改善

作品応募数及び来場者数が増えるよう、広報活動の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
950,000	893,283				893,283

### 事業名／文化振興事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総	◆ 取 組 内 容 幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	文化・芸術に触れる機会を創出

#### ◆事業内容(目的・必要性)

地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に、県民芸術劇場での芸術鑑賞を、文化講演会ではゴルゴ松本氏による講演を実施しました。

#### ◆事業の成果

##### ■県民芸術劇場

日時：令和元年10月26日（土）  
 場所：エルデホール メインホール  
 出演：公益財団法人アルカディア音楽芸術財団  
 内容：「ソプラノ、フルート&ピアノのラブリーコンサート」  
 入場者数：約200人

■文化講演会

日時：令和元年11月2日（土）  
 場所：文化センター 大ホール  
 演題：「命の授業」  
 講師：ゴルゴ松本  
 入場者数：約500人

□効果・達成度

事業を通して、地域住民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。

□課題・改善

より多くの地域住民に関心をもってもらい、来場者が増えるように、住民ニーズを調査します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,589,000	1,478,796				1,478,796

**1次評価：A**

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社会教育費	3. 図書館費	52,332,000 <sup>円</sup>	51,496,421 <sup>円</sup>	835,579 <sup>円</sup>

令和元年度は、3月6日から3月19日まで新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、臨時休館し、3月20日以降も外出自粛要請により来館者が少なく、貸出冊数、貸出人数ともに平成30年度より減少しました。  
 子どもの読書活動推進に関しては、町内各学校と連携し、図書館見学の受け入れや、学校を訪問しておはなし会を継続して開催することで、子どもが図書館のことを知るきっかけを作り、図書館利用につなげ、そこから読書の習慣を身につけられる環境づくりに努めました。

**事業名／図書館管理事業**

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の学習・調査研究を行う情報拠点として、また、各種講座やイベント、ボランティア活動等を通じた学習発表の場として、安全で快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めました。

◆事業の成果

図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設等の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。

- ・屋内消火栓設備ポンプ仕切弁取替、呼水槽取替 (292,450円)
- ・駐車場入口車止め修繕 (86,900円)



- ・会議机 (20脚) キャスター交換 (66,000円)
- ・ブースター取替 (113,960円)

また経年劣化の進んでいた図書館南側と西側にあるウッドデッキの塗装をし直し、滑り止め加工を施すことで、安心して利用していただける図書館管理に努めました。

工事費：910,440円

請負業者：日本防水工業(株)福崎支店

□効果・達成度

定期点検等の実施により、安全で安心な施設管理、運営ができています。

□課題・改善

開館から10年以上経過し、各設備等に傷みが出てきているため、補修を要する箇所を早期に発見し、修繕をすることで、施設の耐久性延伸を図る必要があります。定期的な点検、補修を継続して実施することで、安心して利用できる施設を目指します。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
11,594,000	11,282,050				11,282,050

事業名／図書館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
	まちづくりの柱<章>	町の取り組み
	I 地域づくり・行政	2 効率的で効果的な行政運営
創行	◆ 取組内容	②行政サービスの向上
	図書館の相互利用促進(播磨圏域連携中枢都市圏)	
	II 教育・文化	5 生涯学習
総	◆ 取組内容	②情報提供の充実
	イベントの実施、蔵書構成	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行うため、資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。

また図書館の本を読むだけでなく、そこから何か作る、何かやってみることにつなげ、図書館の本をより活用してもらえよう、夏休み講座を実施しました。

◆事業の成果

図書館おばけやしきやキャンドルナイト等、図書館を知るきっかけとなるイベントの実施により、図書館を身近に感じ、そこにある本に親しむ環境づくりをすることにより読書活動の推進に努めました。

■子ども向け行事

たなばた会

夏休み工作教室「プラバンでなにつくる？」

夏休み講座「どこまでとぶかな?かみひこうき」

図書館おばけやしき

図書館クリスマス会・クリスマスマーケット・クリスマスコンサート

図書館であそぼ会

図書館パネルシアター

■大人向け行事

キャンドルナイト

ストーリーテリング講座

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。(200,000円)

■貸出冊数・貸出人数

	貸出人数(人)	貸出点数(点)	年度末登録者数(人)
29年度	46,224	227,801	16,511
30年度	46,748	230,993	17,366
元年度	43,451	218,360	18,061

□効果・達成度

令和元年度も播磨圏域相互利用により、町外利用者が増えています。町外の主な登録者は姫路市、市川町、神河町在住者です。

令和元年度末の蔵書点数は、153,552点となりました。

定例行事の「えほんのじかん」「おはなし会」「おたのしみ会」等は、応援隊と協力しながら、子どもたちに参加してもらい、絵本や読書の楽しさを伝えることができました。参加者が減ってきていた「おはなし会」も、一度来てくれた子どもたちが続けて来てくれるようになり、参加者数が安定しています。

貸出人数、貸出冊数について、3月6日～3月19日の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館しており、3月20日以降も外出自粛要請により、ともに減少しています。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
図書館貸出人数	49,253	48,474	46,224	46,748	43,451	50,000
総合戦略アクションプランKPI	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R1)
図書館町外登録者数	2,172	2,929	3,486	4,011	4,437	3,600→4,200

□課題・改善

学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、本に触れる機会を増やし、子どもの読書活動を推進していきます。

令和元年度に積極的に設置した特集棚により、貸出が減っていた科学等の分野の本が借りられるようになったため、今後も特集棚等の活用により、普段自ら興味を持ち、借りる分野の本以外にも目を向けてもらえる仕組みを作っていく、継続した図書館利用につなげていきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24,259,000	23,934,696			50,000	23,884,696

**1次評価：B**

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	4.文化センター管理費	39,576,000 <sup>円</sup>	38,654,708 <sup>円</sup>	921,292 <sup>円</sup>

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費です。

**事業名／文化センター管理事業**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
1 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

近隣施設との連携によって、地域住民の文化意識の向上、福祉増進及び体育振興を図るため、各種事業展開の中心的役割を果たしました。学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点として、文化センターの効率的な管理運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和元年度は施設の維持補修として、小ホール空調機入替工事(1,436,400円)、2階トイレ漏水修繕工事(85,800円)を行いました。また、小ホール及び2階講義室のカーテンを取替えました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第36号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

	有料及び無料使用件数				合計 (件)	使用料 (円)	使用者数 (人)
	有料 (件)	無料(件)					
		町関係他	公民館				
29年度	258	170	1,011	396	1,835	844,547	36,302
30年度	255	178	923	546	1,902	830,188	35,768
元年度	319	175	704	401	1,599	901,528	31,547

□効果・達成度

適切な補修により、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化や社会状況から、耐震補強等の抜本的な施設補修が必要となってきました。利用者の高齢化も進み、安全面や利便性の向上を最優先に検討していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,763,000	9,251,938		1,200,000	1,048,985	7,002,953

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	5. エルデホール運営費	219,229,000 <sup>円</sup>	211,039,973 <sup>円</sup>	8,189,027 <sup>円</sup>

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。施設の運営、管理に要した経費です。

事業名/エルデホール管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
1 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。施設及び設備の利用を通して地域住民により高い水準の文化活動の場を提供するため、地域住民が安心して利用できる施設となるよう施設の管理運営を行いました。

◆事業の成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

年度			メインホール	イベントホール	洋 室	スタジオ	ホワイエ	屋外舞台
29年度	開館日数 307	利用日数(日)	180	155	217	123	119	11
		稼働率(%)	58.63	50.49	70.68	40.07	38.76	3.58
30年度	開館日数 308	利用日数(日)	181	131	219	146	106	13
		稼働率(%)	58.77	42.53	71.10	47.40	34.42	4.22
元年度	開館日数 205	利用日数(日)	128	114	136	92	80	12
		稼働率(%)	62.44	55.61	66.34	44.88	39.02	5.85

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。1日に複数の利用者があっても1としています。

年度	貸館使用料収入	使用回数	利用者数
29年度	3,707,823円	900回	47,927人
30年度	3,197,485円	899回	49,842人
元年度	2,202,923円	615回	31,923人

■主な施設修繕費及び設備更新

開館から30年近くが経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。利用者に影響を及ぼす箇所を優先し平成28年度から徐々に修繕・更新を図っています。令和元年度は、施設を4か月ほど閉館して空調設備の改修を行ったほか、自動火災報知設備等入替、メインホール北側跳上階段補修など、緊急性を要するものについて修繕を実施しました。また、安全で快適なホールを維持し安心して使用していただけるよう、各種保守点検を行いました。主な修繕費及び設備更新に係る経費は下記のとおりです。

- ・空調設備改修 (164,478,600円)
- ・自動火災報知設備等入替 (715,000円)
- ・メインホール北側跳上階段補修 (99,000円)
- ・格子開口工事補修(99,000円)
- ・屋上冷却水水漏れ補修(97,200円)
- ・玄関Pタイル取替修理 (84,000円)

□効果・達成度

開館から30年近くが経過し、毎年のように修繕が発生していたメインホール・イベントホール等の空調設備を入れ替えました。これにより来館者に安定して快適な空間を提供することができました。また動力が灯油式から空冷チラー方式(冷却水循環装置により温度制御を行う方式)になり、ラインニングコストの低減と環境負荷の軽減を図ることができました。自動火災報知器の更新も実施し、空調設備更新とあわせてより安心安全なホール運営が可能となりました。

□課題・改善

施設の老朽化により、修繕の必要箇所が増えてきています。また耐用年数が過ぎている機器などが多

く、安全面や運営面からも更新が必要となっています。緊急を要する箇所を洗い出し計画的に修繕や更新を行います。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
190,041,000	183,235,334		148,400,000	2,205,023	32,630,311

### 事業名／エルデホール自主公演事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	文化・芸術に触れる機会を創出

#### ◆事業内容(目的・必要性)

公演を通じて、地域住民に人生の生きがいと楽しみを提供できる機会をつくることを目的に、自主事業を実施しました。事業は、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業、住民参加型事業等、テーマ別を実施しました。

#### ◆事業の成果

##### ■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために6回の自主公演事業を実施しました。これに伴う入場料収入の合計は1,592,700円でした。

##### ・自主事業一覧

実 施 日	内 容	人数 (人)
7月21日(日)	よしもとお笑いライブin福岡	93
8月10日(土)	エルデサマーコンサート2019 Shion Brass Ensemble 5 ~Piay ドラゴンクエスト	145
8月25日(日)	ファミリーで楽しむ テツandトモのなんでだろう?	149
9月7日(土)	山田姉妹ソプラノデュオコンサート	131
10月27日(日)	エルデ秋の映画祭	83
11月17日(日)	宗次郎オカリナコンサート	301
	計	902

#### □効果・達成度

令和元年度は住民企画事業の実施については見送りましたが、自主事業数については平成30年度から据え置きの数6回となっています。お笑いに始まり、楽器演奏、手品ショー、歌のコンサートと様々なジャンルを実施し、幅広い世代の方に芸術とエンターテイメントを楽しんでいただくことができましたが、年間集客人数については前年度比48.8%減となりました。

なお、令和元年度のエルデホール自主公演事業平均入場者数は、150人でした。

#### □めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
自主公演事業平均入場者数	271	272	282	294	150	290→300

#### □課題・改善

令和元年度の自主公演については平成30年度と比較して入場者数が大幅に落ち込みました。需要に即した企画の立案はもちろんのこと、広報・宣伝の方法について今一度見直しを行い、文化を発信する施

設としての役割を全うするべく運営を行います。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,069,000	10,577,074			1,592,700	8,984,374

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	6. 研 修 セ ン タ ー 運 営 費	6,182,000 <sup>円</sup>	6,049,080 <sup>円</sup>	132,920 <sup>円</sup>

八千種研修センターは、文化センター（中央公民館）の分館として、地域住民の文化教養の向上や地域社会の連携を深めるために運営しました。その管理・運営を効率的に行うために要した経費です。

**事業名／研修センター管理事業**

◆事業内容(目的・必要性)

地域文化の向上、研さんの場として、利用者に安全で快適に利用していただくため、適切な管理・運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和元年度は、施設の維持補修として、1階ロビーブラインド取替・和室カーテン取替(187,721円)、玄関ドアヒンジ交換(97,200円)、駐車場区画線修繕(46,240円)を実施しました。

■八千種研修センターの利用状況

第34回八千種研修センターまつりを令和元年10月19日(土)・20日(日)に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。

■利用状況の推移及び貸出図書数

( ) は有料件数

	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料 (円)	貸出図書数
29年度	898 (145)	11,403	31,280	1,622
30年度	893 (177)	10,149	16,490	1,459
元年度	794 (116)	9,368	23,410	790

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。

□課題・改善

令和2年度は、1階調理室空調設備改修工事、特殊建物等定期調査を実施し、施設改修及び施設の保安管理を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,439,000	3,308,354			23,410	3,284,944

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	7. 青少年野外活動センター費	9,234,000円	8,991,595円	242,405円

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要した経費です。

**事業名／青少年野外活動センター管理事業**

総合計画⇨後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
◆ 取組内容	多彩な学習機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民に自然にふれる機会や交流の場を提供するため、安全快適な施設管理を行いました。

◆事業の成果

■主な施設修繕料

- ・多目的広場整備工事 3,493,600円 (請負業者：安井建設(株))
- ・管理棟1階コインシャワーユニット工事 660,000円 (請負業者：高岡電工(株))

■主な委託料

- ・清掃委託料 179,600円 (請負業者：(株)三創、田口区)
- ・警備委託料 141,000円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・電気設備管理委託料 174,180円 (請負業者：小國電気設備管理事務所)

■利用状況

(単位：円)

年度	施設利用者数(人)	利用団体数	施設利用料	山小屋	テント	テントサイト	食器類	管理棟・多目的ホール	シャワー	その他	合計
28年度	7,081	409	1,111,345	127,860	64,890	34,650	37,875	1,275	92,800	0	1,470,695
29年度	7,760	383	992,340	93,975	51,500	30,450	26,775	1,530	90,500	0	1,287,070
30年度	6,311	331	975,340	100,200	59,950	31,710	21,650	2,390	80,400	0	1,271,640
元年度	7,064	419	1,093,635	128,100	53,560	43,470	38,000	4,590	113,600	0	1,474,955

※利用者数は延べ人数で集計しています。

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、1年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に年間を通して利用いただけるよう、恵まれた立地を生かした広報活動を行う必要があります。また、令和元年度に多目的広場整備工事および管理棟1階コインシャワーユニット更新工事を実施しました。今後も利用者の安全を図るための取り組みを継続する必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,234,000	8,991,595			4,967,955	4,023,640

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	8. 人権教育振興費	4,742,000円	4,551,104円	190,896円

急激な社会構造の変化により、人権問題も多様化・複雑化し、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、外国人等の問題に加えて、個人情報流出、働く人の人権等、新たな問題が生じています。また、国内では人権に関連した法律の整備が進んでいます。

福崎町では、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表すことが文化として定着している社会をめざして、人権について一層理解を深めていただくために、自治会単位研修会をはじめ、家庭や学校、職場、地域において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざすため、「福崎町男女共同参画基本計画」を効果的に推進しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値・行政改革	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
審議会委員などへの女性登用率	29.7%	31.8%	33.0%	31.9%	31.3%	33.0%

**事業名／人権教育振興事業**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ. 教育・文化	6. 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆ 取 組 内 容	自治会研修会の開催	人権フェスティバルの開催

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民等の人権意識高揚を図るため、自治会単位研修会を開催しました。また、「人権文化を高める教育内容を創造しよう」をテーマとした研究大会に参加しました。

男女共同参画社会実現のため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の周知、啓発を図りました。

◆事業の成果

■研修会の開催及び研究大会・講演会への参加

- ・人権・青少年健全育成研修会  
(区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修)  
令和元年5月18日(土) 啓発DVD視聴・講話 参加者：94人
- ・自治会単位人権・青少年健全育成研修会  
32自治会が実施 参加者：960人
- ・神崎郡人権教育研究大会



令和元年8月1日(木) 神崎中学校

学校教員を主に企業の参加者により人権関係の研究課題を討議 参加者:115人

- ・兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会

令和元年8月18日(日) 宍粟市山崎文化会館ほか 参加者:23人

- ・神崎郡人権教育研究協議会 学校園所部会人権教育講演会

令和元年8月21日(水) 神河町グリーンデルホール 参加者:66人

- ・兵庫県人権教育研究大会中央大会

令和元年9月29日(日) 豊岡市民会館ほか 参加者:6名

- ・神崎郡人権教育研究協議会指定実践発表会(公開授業・公開保育、全体会)

令和元年10月16日(水) 神崎幼稚園、神崎小学校 参加者:約400人(神崎郡)

- ・神崎郡民主化推進連絡協議会人権啓発講演会

令和元年12月7日(土) 福崎町文化センター 参加者:300人

演題:「親子のコミュニケーションの大切さ ～子どもの人権を守るために～」

講師:心理カウンセラー 羽林 由鶴 さん

- ・西播磨地区人権教育研究協議会 総括大会(公開授業・公開保育)

令和2年2月5日(水) 上郡町立高田小学校ほか 参加者:8人

#### ■福崎町男女共同参画基本計画の推進

- ・国の男女共同参画週間にあわせて講演開催

令和元年6月21日(金) 福崎町文化センター 参加者:51人

講演:「「しきたり」にしばられず、スッキリ生きる ～「家制度」を考える～」

講師:世界人権問題研究センター 嘱託研究員 源 淳子 さん

- ・国の男女共同参画週間にあわせて広報掲載、図書館に男女共同参画に関する図書コーナー設置

- ・女性のための働き方セミナー(県事業の活用)

令和元年9月30日(月) 八千種研修センター 参加者13人

- ・女性のためのチャレンジ相談(県事業の活用)

令和元年11月8日(金) サルビア会館 相談者2人

#### ■負担金

- ・神崎郡人権教育研究協議会負担金 304,000円
- ・神崎郡人権問題対策協議会負担金 171,000円
- ・神崎郡民主化推進連絡協議会負担金 57,000円
- ・(公財)人権教育啓発推進センター年会費 20,000円

#### ■補助金

- ・自治会単位研修会補助金 757,000円
- ・福崎町民主化推進協議会運営補助金 450,000円

#### □効果・達成度

自治会単位研修会では、正しく知ることが同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の解決につながるということを参加者の方に認識していただくことができました。

また、研究大会・講演会には、学校教員のほか、多くの方に参加いただき、他市町や他団体との交流等をおして人権意識の高揚を図ることができました。

#### □めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
自治会単位研修会への参加者数	1,105	1,247	1,065	1,038	960	1,300

□課題・改善

自治会単位研修会への参加者数は平成29年度以降減少傾向にあります。研修会への参加者が固定化、高齢化しています。様々な年代層にも参加いただくために、自治会長、人権教育推進委員と連携し、地域の実情に応じた研修会の開催に努めます。研修会などを通して、人権問題を知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に取り組みます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,084,000	2,001,678				2,001,678

**事業名／人権啓発事業**

◆事業内容(目的・必要性)

人権意識高揚のため、県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する啓発事業で、県の補助事業です。

◆事業の成果

■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル（神崎郡民主化推進連絡協議会と共催）

令和元年12月7日（土） 福崎町エルデホール 参加者：300人

- ・体験発表 小中学生
- ・講演 演題：「親子のコミュニケーションの大切さ ～子どもの人権を守るために～」  
講師：心理カウンセラー 羽林 由鶴 さん
- ・展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語
- ・人権啓発資材の配布（人権標語入りメモ帳400冊）

■人権啓発冊子

- ・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」作成・全戸配布 6,300部 404,250円
- ・「元気UPじんけん」 成人式配布 200部 20,000円

■啓発DVDの購入

- ・「サラーマット」 66,000円

□効果・達成度

多くの方々の人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。

□課題・改善

多くの方々があらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会話のきっかけとなるよう、今後も継続してフェスティバルを開催します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,038,000	1,023,941	323,000			700,941

**事業名／人権意識高揚（心の教育）活動委託事業**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総◆ 取組内容	インターネット上での危険未然防止(普及啓発、研修会)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆ 取組内容	いじめをなくす人権意識の高揚	豊かな人間性が育まれる教育の推進

◆事業内容(目的・必要性)

児童・生徒一人ひとりが、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的に各種事業を実施しました。

◆事業の成果

子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得するには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習（インターネットによる人権侵害についての学習等）を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。

□効果・達成度

身近な人権課題解決のためのグループ討議や講話による学習や地域住民との清掃ボランティア活動などの交流等を通じて、子どもたちの「豊かな心と生きる力」を育むことができました。

□課題・改善

今後も適正に努めていきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,620,000	1,525,485				1,525,485

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	9. 辻川界限文化振興費	29,332,000 <sup>円</sup>	26,930,335 <sup>円</sup>	2,401,665 <sup>円</sup>

辻川界限の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な事業としては、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅の管理、第40回山桃忌の開催です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総◆ 取組内容	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用	地域資源の有効活用、魅力発信
V 産業振興	3 観光	①観光資源の発掘・育成・活用
総◆ 取組内容	三木家住宅、旧辻川郵便局などの文化財の新しい活用	
V 産業振興	3 観光	②魅力ある観光の推進
総◆ 取組内容	市民連携による文化と観光のまちづくりを推進	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総◆ 取組内容	辻川山周辺全体を歴史・文化・観光拠点として整備	

**事業名／歴史民俗資料館運営事業**

◆事業内容(目的・必要性)

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集保存し一般に公開するため、各種事業を実施しました。

◆事業の成果

■展示活動

元号が改められ、平成時代が終わる節目に、平成時代の福崎町での出来事や当時の様子などを紹介した、平成をふりかえる企画展を開催しました。

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月20日～5月31日	企画展「“平成時代”とふくさき」	2,776人	展示点数 100点
10月19日～12月1日	企画展「発掘調査からみるむかしの福崎～平成30年間の調査成果から～」	1,716人	展示点数 226点

■資料収集

郷土資料を収集しました。令和元年度は、4人の方から民具・文書等23点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

- ・ふくさき歴史体験隊 隊員数17人 講師補助員20名

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界限における柳田國男の足跡めぐりをはじめ、土器づくりや郷土食づくり等を行い、指導者等さまざまな年齢層の方との交流を図ることができました。

- ・連続講座「福崎の“平成時代”をふりかえる」

本講座では、平成時代の出来事や平成に指定された文化財などをおし、福崎町の歴史・民俗・文化をより深く理解していただく機会を提供しました。

■入館者数 12,744人（平成30年度13,120人、平成29年度12,729人）

□効果・達成度

年間を通じて、企画展や連続講座、ふくさき歴史体験隊事業等を実施し、幅広い年代層に郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供することができました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,200,000	3,626,192				3,626,192

事業名／柳田國男・松岡家記念館管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総	柳田國男・松岡家記念館リニューアル改修	

◆事業内容(目的・必要性)

日本民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに一般に公開しました。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設の環境改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しました。令和元年度は3人の方から松岡家資料など236点の

寄贈をいただきました。

■松岡映丘画稿補修委託

委託料：479,088円（受託業者：働工房レストア）

作品10点 「武者絵」「牛若丸」「梶原景季」「陣中の武者」「那須与一」「勝鬨」「西行」  
「新羅三郎」「西行法師」「鼓打つ女」

■講演会

・「日本画家・松岡映丘の業績」10月27日（日）

講師：石井正己 参加者：33人

■入館者数13,000人（平成30年度14,059人、平成29年度14,974人）

□効果・達成度

開館40年以上を経過した記念館や生家については、日々の施設点検・記録を行い、不具合箇所等の早期発見、対処等、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
柳田國男・松岡家記念館入館者数	13,222	15,809	14,974	14,059	13,000	16,000

□課題・改善

老朽化した施設の環境改善、展示を含めた施設リニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,638,000	4,076,676			479,000	3,597,676

事業名／柳田國男・松岡家記念館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
◆ 取 組 内 容	名誉町民の顕彰を推進	友好都市である遠野市との交流促進

◆事業内容(目的・必要性)

柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、各種事業を実施しました。

第40回山桃忌、松岡映丘画稿展等を実施しました。第6回柳田國男検定では、上級編の最高得点者に「遠野への旅」を贈りました。教育普及活動では、伊勢大神楽や版画教室を開催しました。

◆事業の成果

■第40回山桃忌

[1日目]8月3日（土）

「第1部 柳田國男・井上通泰と文学」参加者：204人

内容：山桃忌 式典

「大正琴演奏」琴伝流大正琴七種会&もちの木会

基調講演「和歌と井上通泰・柳田國男」

柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

記念講演「民謡研究の基盤～柳田國男『民謡覚書』から学ぶ～

奈良教育大学名誉教授、日本歌謡学会名誉会長 真鍋昌弘

シンポジウム「明治の文学・文壇と柳田國男」

コーディネーター：石井正己

パネリスト：横浜国立大学教授 一柳廣孝

柳田國男の孫、民俗学修士 南八枝子

神河町立神河中学校主幹教諭 鎌田雅弘

[2日目] 8月4日(日)

「第2部 出雲神楽上演」参加者：357人

内容：「出雲神楽」解説 柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

出雲神楽上演

・国譲 南加茂貴船神楽社中

・簸の川大蛇退治 山王寺和野神楽社中

■第6回柳田國男検定(初級編、中級編、上級編)

実施日：8月4日(日)

受験者数：初級編26人、中級編6人、上級編12人

合格者数：初級編14人、中級編4人、上級編3人

■展示活動

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月6日～5月26日	企画展「松岡映丘画稿展～映丘がいざなう旅の風景～」	2,974人	展示点数 7点
10月5日～12月1日	企画展「松岡映丘画稿展～やまと絵でみる平家物語の世界～」	2,351人	展示点数 9点
10月26日～12月8日	「福崎町子どもふるさと展」	1,837人	展示点数 76点

■講演会

・「偉人崇拜の民俗学-歴史認識の民俗学にむけて」6月29日(土)

講師：及川祥平 参加者：37人

■教育普及活動

・伊勢大神楽 11月9日(土) 出演：加藤菊太夫 参加者：101人

・岩田健三郎版画教室 12月8日(日) 講師：岩田健三郎 参加者：22人

■第7回福崎町柳田國男ふるさと賞

柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。

・小学校低学年の部

長澤菜里奏(田原小学校4年生) 作品名「ひいおばあちゃんが子どもころの家」

・小学校高学年の部

内藤のこ(八千種小学校5年生) 作品名「わたしの名前と福崎町について」

・中学校の部

岡本琉那(福崎西中学校1年生) 作品名「昔から残る桜の獅子舞」

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞

令和元年度受賞作品「縁を結ぶ人々-国立ハンセン病療養所菊池恵楓園の弔い慣行から-」原田寿真

■館報「うぶすな」発行（7,000部）

□効果・達成度

山桃忌、柳田國男検定、企画展、ふるさと賞等、年間を通じて顕彰事業に取り組み、「柳田國男生誕の地 福崎町」を町内外に発信し、松岡五兄弟への理解を深めることができました。

□課題・改善

柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できる分かりやすい催しや展示手法を引き続き研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,166,000	2,863,310			28,000	2,835,310

事業名／三木家住宅等管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
◆ 取 組 内 容	三木家住宅（主屋）の文化交流活動拠点としての活用	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用

◆事業内容(目的・必要性)

平成22年度から進めてきた主屋に関連する保存修理工事の終了により、三木家住宅を活用していくため、平成29年度から主屋部分を展示施設として一般公開を行っています。三木家の歴史や魅力を来館者に伝えるため、公開イベントを実施しました。

また、屋内外の清掃等を行い、文化財の維持管理に努めました。

◆事業の成果

■主屋公開事業

■三木家住宅主屋公開イベント

実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
4月27日(土) ～6月2日(日)	企画展「五月人形展」	—	890
7月13日(土)	手づくり講習会「三木家de風鈴づくり」	—	74
7月13日(土) ～8月25日(日)	企画展「手づくり風鈴展」	—	666
11月3日(日)	手づくり講習会「まつぼっくり工作」	—	44
11月12日(火) ～12月22日(日)	特別展示「福崎の文化と三木家～文化を楽しむ三木家の人びと」(ひょうご地域創生交付金事業)	—	585
11月24日(日)	三木家入門講座③ 「三木家の文化的活動」	神戸大学大学院 人文学研究科 井上 舞	25
2月8日(土) ～3月29日(日)	企画展「わが家の雛人形展」	—	457

■画稿等補修委託

委託料：209,000円（受託業者：㈱工房レストア）

藤本煙津書幅4点（二曲屏風仕立て）

■開館日数・入館者数

開館日数 150日 入館者数 5,085人

□効果・達成度

四季に応じた展示、講習会等を実施し、多くの見学者を得て、文化財保護意識を醸成することができました。

□課題・改善

まちの歴史を伝える文化財として三木家住宅の保存を図りつつ、来訪者の興味・関心を高める展示やイベントの充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,704,000	3,272,356				3,272,356

**事業名／辻川界限文化振興事業**

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界限の活性化のため、文化財の保護及び観光振興に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■松岡五兄弟石像及び短歌祭掲示板のモニュメント保険、望郷の丘の建物共済保険に継続加入しました。

□効果・達成度

辻川界限の観光振興に寄与しました。

□課題・改善

辻川界限の活性化に向けた検討を進める必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,330,000	889,923				889,923

**事業名／ひょうご地域創生交付金事業（辻川界限文化振興）**

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界限活性化のため、ひょうご地域創生交付金事業補助金を活用し、各種事業を実施しました。三木家住宅資料の保存活用のため、神戸大学大学院人文学研究科との共同研究による文献資料調査を実施しました。

◆事業の成果

■三木家住宅 特別展示 令和元年11月12日～12月22日

「福崎の文化と三木家～文化を楽しむ三木家の人びと」 入場者585人 展示点数23点

■柳田國男『故郷七十年』辻川界限散策マップ作成 (2,000部)

■神崎郡歴史民俗資料館昇降機設置工事 1,096,150円 (請負業者：(有)松岡医療器)

□効果・達成度

辻川界限のシンボリック的存在である三木家住宅の主屋を公開し、資料調査の成果を活用した特別展示を実施することで辻川界限への来訪の機会を高めました。また、辻川界限散策マップの作成や、歴史民俗資料館の昇降機設置工事により、訪問者が訪れやすい環境を整備することができました。



□課題・改善

引き続き辻川界隈の情報発信と地域の歴史資源の保存・活用を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,800,000	2,712,849	980,000			1,732,849

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	10. 文 化 財 保 護 費	42,373,000 円	42,081,338 円	291,662 円

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査です。

**事業名／文化財保護一般事務費**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7. 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
総 ◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、調査成果の公開	取蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）
Ⅱ 教育・文化	7. 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総 ◆ 取 組 内 容	三木家住宅、旧辻川郵便局の新たな活用	
Ⅵ まちの基盤	4. 公園・緑地	②緑化の推進
総 ◆ 取 組 内 容	神社仏閣、境内地樹木等緑地の景観保全	

◆事業内容(目的・必要性)

文化財を保護し、活用を図るため、町指定文化財の保存継承事業や古墳周辺環境整備等への補助金交付、説明板の整備を行いました。文化財審議委員会を開催し、文化財行政について専門的な立場から審議いただきました。伝統文化親子教室事業を活用し、子どもたちへ地域の文化財の継承を行いました。

福崎町の地域歴史遺産の掘り起こしを進めるため、神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業に取り組みました。

◆事業の成果

- 町指定古墳周辺整備補助金：4古墳×10,000円=40,000円  
大塚古墳（山崎）・妙徳山古墳（神積寺）・相山古墳（西大貫）・神谷古墳（醫王寺）
- 町指定民俗文化財保存継承事業補助金：6保存会×30,000円=180,000円  
浄舞（熊野神社）・浄舞（余田大歳神社）・追儺（神積寺）  
かくしほちよじ（鍛冶屋）・法成就講（高橋）・獅子舞（桜）
- 町指定文化財整備事業補助金  
阿弥陀堂 解体保存工事 43,000円（補助事業者：福田区）
- 町指定文化財看板設置等（相山古墳、神谷古墳、東広畑古墳・東新田古墳）
- 福崎町文化財啓発冊子改訂 500部 437,250円
- 文化財審議委員会  
第1回：令和元年7月12日（金） 第2回：令和2年1月31日（金）
- 伝統文化親子教室事業 512,440円

□効果・達成度

町指定文化財保存継承事業等に補助金を交付することで、文化財保護活動の促進を図りました。

神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、松岡家に関する資料調査を継続して行い、調査

成果は広報紙等で広く町民に発信しました。令和元年度は令和3年の松岡映丘生誕140年に向けた映丘に関する資料収集・分析を進めました。地域資料の保全、活用のため、中島地区住民と共に地区文書の整理を実施し、目録の作成を進めたほか、庄地区圓照寺の資料調査を行いました。

また、町民に町内の指定文化財について周知するため、文化財啓発冊子を刊行しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
文化財の指定件数	44	44	46	46	46	47

□課題・改善

地域所在資料の調査・整理の成果を広く地域住民に知ってもらうため、現地での展示会を住民と共に企画するなど継続した取り組みが必要です。

住民に文化財の重要性を認識していただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。文化財や郷土資料を保存継承していくため、適切な保存環境を備えた収蔵施設の整備が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,486,000	3,360,340	512,440			2,847,900

事業名／埋蔵文化財発掘調査事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、調査成果の公開	収蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）

◆事業内容(目的・必要性)

埋蔵文化財を適切に保護していくため、開発事業との円滑な調整を図り、調査を行いました。

◆事業の成果

民間開発等に伴う試掘・確認調査を12か所、本調査を4か所で行いました。高岡・福田地区ほ場整備に伴う埋蔵文化財調査では、狐塚遺跡から近世から近代の水田跡や集落跡、林谷遺跡から縄文時代の落とし穴遺構のほか、古墳時代の竪穴住居が見つかるなどの成果が得られました。中溝遺跡では、弥生時代後期の竪穴住居や溝などの遺構が確認されました。

また、埋蔵文化財調査報告書を刊行し、調査成果の公開を行うことができました。

■民間開発等に伴う試掘調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
宅地造成工事に伴う南田原字北西試掘調査	—	—	水田	平成31年4月8、9日 (2日)	11か所 44㎡
倉庫新築工事に伴う東田原字垣内田試掘調査	—	—	休耕田	令和元年7月2日 (半日)	1か所 4㎡
個人住宅新築工事に伴う山崎字地藏垣内試掘調査	—	—	宅地	令和元年7月2日 (半日)	1か所 4㎡

個人住宅新築工事に伴う八千種字小倉垣内試掘調査	—	—	畑地	令和元年7月9日 (半日)	1か所 4㎡
宅地造成工事に伴う西田原字前田試掘調査	—	—	休耕地	令和元年8月21日 (半日)	1か所 8㎡
病院新築工事に伴う西田原字裏畑試掘調査	—	—	宅地	令和元年10月1日 (半日)	2か所 8㎡
宅地造成工事に伴う福崎新字因幡口試掘調査	—	—	休耕地	令和元年11月19日 (1日)	6か所 24㎡
宅地造成工事に伴う南田原字北西試掘調査	—	—	休耕地	令和元年12月9日、18日 (2日)	5か所 20㎡
宅地造成工事に伴う大貫字南垣内試掘調査	—	—	畑地	令和元年12月26日 (半日)	1か所 4㎡
個人住宅新築工事に伴う南田原字西垣内試掘調査	—	—	宅地	令和2年2月17日 (半日)	1か所 4㎡

#### ■民間開発等に伴う確認調査

遺跡名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
中溝遺跡第4次 (福崎駅周辺整備造成工事に伴う確認調査)	弥生 奈良 中世	その他	集落	令和元年12月18日 (半日)	2か所 8㎡
北野散布地第9次 (土地造成工事に伴う確認調査)	弥生 中世	集落 散布地	宅地	令和2年1月20日 (半日)	1か所 5㎡

#### ■民間開発等に伴う本調査

遺跡名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
福崎駅周辺整備造成工事に伴う中溝遺跡本調査(第5次)	弥生 奈良 中世	集落	更地	令和2年2月3日～ 26日(13日)	560㎡

#### ■ほ場整備事業に伴う試掘・確認調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
高岡・福田地区ほ場整備事業に伴う試掘・確認調査	—	—	水田	令和元年8月26日～ 令和2年2月26日(21日)	21か所 270㎡

#### ■ほ場整備事業に伴う本調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
狐塚遺跡(第1次)	平安	散布地	水田	令和元年6月4日～ 令和2年1月24日(21日)	1,906㎡
林谷遺跡(第1次)	縄文	散布地	水田	令和元年7月1日～ 11月7日(33日)	2,560㎡

観音堂遺跡（第2次）	平安	散布地	水田	令和2年2月27日～ 3月6日（6日）	232㎡
------------	----	-----	----	------------------------	------

□効果・達成度

適切に調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めました。

埋蔵文化財包蔵地の可能性がある箇所について、工事立会や分布調査・試掘調査を行うことで新たな埋蔵文化財が発見され、記録保存を行うことができました。また、歴史民俗資料館の企画展や広報で調査成果を発信することができました。

□課題・改善

引き続き、発掘調査の結果を講座、展示会等で積極的に公開していく必要があります。

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き整理作業を進め、調査報告書の刊行に努めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
38,887,000	38,720,998	33,315,000		2,600,000	2,805,998

1次評価：A

(5) 保健体育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	1.保健体育総務費	24,686,000 <sup>円</sup>	24,107,025 <sup>円</sup>	578,975 <sup>円</sup>

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力している組織の活動費・助成金等です。その活動により、老若男女を問わず、また多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

事業名／保健体育総務一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	②指導体制の確立
総 ◆ 取 組 内 容	指導者の育成 指導体制の確立支援	指導者や審判等の資質向上支援
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
総 ◆ 取 組 内 容	広報活動の充実	子どもの体力向上を目的とした事業の実施
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民の自主的な健康づくり活動の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

生涯スポーツ全般にわたる事業推進のため、スポーツ推進委員・普及員が中心となり、地域住民対象のスポーツ大会等を企画・運営し、生涯スポーツの普及発展を図りました。近年の高齢化に対応し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を行いました。

また、生涯スポーツの振興を図るため、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。

◆事業の成果

■スポーツ推進委員会

年4回開催し、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等についての審

議を行いました。また、スポーツ推進委員の資質・指導力向上及び情報交換等のため研究協議会に出席しました。

□スポーツ推進委員会

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 第1回 平成31年4月10日(水)   | 第2回 令和元年7月31日(水)           |
| 第3回 令和元年11月13日(水)   | 第4回 令和2年1月15日(水)           |
| ・ひょうご女性スポーツの会総合開会式  | 令和元年6月8日(土) 神戸市            |
| ・中播磨スポーツ推進委員研究協議会   | 令和元年6月16日(日) 神河町           |
| ・兵庫県スポーツ推進委員研究協議会   | 令和元年10月20日(日) 洲本市          |
| ・全国スポーツ推進委員研究協議会    | 令和元年11月14日(木)～15日(金) 三重県津市 |
| ・兵庫県スポーツ推進委員女性委員研修会 | 令和元年12月1日(日) 姫路市           |
| ・神崎郡スポーツ推進委員研修会     | 令和2年1月18日(土) 福崎町           |
| ・近畿スポーツ推進委員研究協議会    | 令和2年2月7日(金)～8日(土) 和歌山県和歌山市 |

■健康推進事業

健康セミナーを年3回開催し、スポーツ推進委員の知識・技術を活用し暮らしの中での運動習慣の推進を行いました。

□健康セミナー

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 第1回 令和元年7月6日(土)   | 体力測定と簡単筋肉トレーニング |
| 第2回 令和元年8月31日(土)  | 認知症予防コグニサイズ講習会  |
| 第3回 令和元年11月16日(土) | 背骨コンディショニング講習会  |

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人12人を表彰しました。

【受賞者一覧】

氏名	所属	内容	成績
松浦歩花	田原小学校 6年生	第34回(令和元年記念)近畿小学生男女ソフトボール大会(男子の部)	優勝
浅井陸人	田原小学校 5年生	第34回(令和元年記念)近畿小学生男女ソフトボール大会(男子の部)	優勝
船本梁栄	田原小学校 5年生	第34回(令和元年記念)近畿小学生男女ソフトボール大会(男子の部)	優勝
加藤一瑛	田原小学校 5年生	第34回(令和元年記念)近畿小学生男女ソフトボール大会(男子の部)	優勝
富田翔輝	田原小学校 4年生	第34回(令和元年記念)近畿小学生男女ソフトボール大会(男子の部)	優勝
岡本宗大	田原小学校 3年生	第34回(令和元年記念)近畿小学生男女ソフトボール大会(男子の部)	優勝
宮内綾花	福崎小学校 6年生	第35回全国小学校陸上競技交流大会	陸上競技コンパインド <sup>®</sup> A(80mハードル・走高跳)入賞
尾藤陽斗	福崎東中学校 3年生	第27回ヤングリーグ春季大会	硬式野球 出場
三森迅人	福崎西中学校 3年生	第47回日本リトルシニア日本選手権大会	硬式野球 出場

古田正道	福崎西中学校 3年生	令和元年度全国中学校体育大会 第46回全日本中学校陸上競技選手権大会	陸上競技 走幅跳 入賞
岡 謙佑	姫路商業高等学校 1年生	第95回日本選手権水泳競技大会兼東京オ リンピック世界最終予選代表選手選考会	水泳競技(オープンワ ータースイミング 競技 10 km)出場
岡本一成	長崎県立大学 1回生	2019年少林寺拳法全国大会 in あいち	少林寺拳法 出場

□効果・達成

スポーツ推進委員の資質向上・生涯スポーツ活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に大きく成果をあげました。健康セミナーを年3回開催し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を推進しました。

スポーツ功績賞の表彰により、多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになりました。

□課題・改善

スポーツ健康分野において、推進委員の能力を生かし活発な活動を続けていきます。また、自治会の普及員と協力し地域における健康増進活動を活発に進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,244,000	1,083,545				1,083,545

事業名／町体育協会等育成事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総	◆ 取 組 内 容	各団体が活発に活動できる体制づくりの支援
		各団体への施設開放による支援

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町体育協会・福崎町スポーツ少年団の育成強化のため、財政的な補助を行いました。体育協会では、地域住民に対し、秋まつり協賛事業でふくさき食育フェア(健康ブース)、グラウンドゴルフ大会を企画・運営しました。

◆事業の成果

体育協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■令和元年度 福崎町体育協会加盟団体一覧

R 2. 3. 31現在

団 体 名	会 長 名	会 員 数 (人)	団 体 名	会 長 名	会 員 数 (人)
庭 球 協 会	佐伯武彦	20	卓 球 協 会	高松繁樹	23
ゲートボール協会	上野昭郎	7	バレーボール協会	松山濫久	60
陸 上 競 技 協 会	岩崎文治	28	水 泳 協 会	三輪和幸	21
少 林 寺 拳 法 協 会	生田久人	33	山 の 会 協 会	楠田道廣	53
柔 道 協 会	難波弘一	40	ソフトボール協会	三輪一朝	239
合 氣 道 協 会	羽室研二	27	グラウンドゴルフ協会	尾崎久一	192
ソフトバレーボール協会	米田 泉	45	ゴ ル フ 協 会	北山孝彦	7
剣 道 協 会	大西崇博	16	合 計		811

■令和元年度 福崎町体育協会決算書

収 入			支 出		
項 目	金 額 ( 円 )	備 考	項 目	金 額 ( 円 )	備 考
会 費	32,000	加盟協会から @2,000×16	事 業 費	1,795,176	加盟協会助成金 大会賞品等
補 助 金	1,744,000	町補助金	事 務 費	25,100	事務用品他
繰 越 金	191,329	前年度繰越	基 金 費	50,000	50周年記念事 業積立基金
事 業 収 入	20,000	大会参加料			
戻 入	94,000	戻入	予 備 費	0	
雑 入	3	利息	合 計	1,870,276	
合 計	2,081,332				

収入支出差引額 211,056円(令和2年度へ繰越)

■令和元年度 福崎町スポーツ少年団決算書

収 入			支 出		
項 目	金 額 ( 円 )	備 考	項 目	金 額 ( 円 )	備 考
会 費	108,000	加盟団から @1,000×108 名	登 録 費	85,200	県登録料他
			事 業 費	117,800	大会補助金他
補 助 金	105,000	町補助金	事 務 費	5,072	郵便料他
繰 越 金	47,982	前年度繰越金	会 議 費	1,290	会議用飲料
雑 入	41,400	大会参加料他	慶 弔 費	0	
合 計	302,382		予 備 費	28,600	
			合 計	237,962	

収入支出差引額 64,420円(令和2年度へ繰越)

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む15協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,849,000	1,849,000				1,849,000

事業名/子ども会運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<夢>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総	◆ 取 組 内 容	青少年団体への支援(青少年の自主的な活動を促進)

◆事業内容(目的・必要性)

子どもたちの福祉増進のため、町内子ども会相互の連携と子ども会の自主的な活動の充実を図り、各種行事に取り組みました。主な行事としては、子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会・郡球技大会を実施しました。

また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、郡オセロ

大会に参加し、町少年少女将棋大会を開催しました。

◆事業の成果

■町球技大会の結果：令和元年6月22日（土） 場所 福崎小学校

部門	優勝	準優勝	3位	
ソフトボール	大門	西治・西谷	馬田	八千種
バレーボール	板坂・桜	新町	西治・西谷	井ノ北

優勝、準優勝チームは令和元年7月6日（土）に市川町で開催された神崎郡子ども会球技大会に出場し、ソフトボールの部において大門子ども会が優勝、西治・西谷子ども会が準優勝、バレーボールの部において板坂・桜子ども会が準優勝に輝く活躍を見せました。

■神崎郡オセロ大会：令和元年9月1日（日） 場所：市川町公民館

参加者（福崎町からの参加者）

小学校低学年の部	31人
小学校高学年の部	11人

■町少年少女将棋大会：令和元年12月1日（日） 場所：福崎町文化センター

参加者

小学校低学年の部	11人
小学校高学年の部	8人

□効果・達成度

各種行事を通して、子どもたちの身体的・精神的な向上を図るとともに、子ども・保護者ともに地域での交流を促進することができました。

□課題・改善

町の将棋大会の参加者を増やすため、広報活動にいっそう努めます。また、球技大会練習時のケガを少なくするために、さらなる安全教育を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,117,000	1,902,409				1,902,409

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	2.給食運営費	221,792,000 円	215,969,014 円	5,822,986 円

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康増進・体力の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的な役割も担っています。

給食センターでは、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として、地場産物の活用を推進し、学校給食を生きた教材として活用した食育に取り組みました。

事業名／給食センター管理事業



◆事業内容(目的・必要性)

平成30年4月から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食運営の合理化を図ると共に、各作業場に設置した6台のテレビカメラシステムを活用し、調理現場における安全衛生管理を行いました。

給食の試食会については、9回(延人数146人)を受け入れました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、徴収率の向上を図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、給食費の滞納額の減少に努めました。

◆事業の成果

■収入状況

(単位:円)

年度	区分	調定額	収納額	不納欠損額	滞納額	徴収率(%)
元	現年度	95,088,154	94,665,354	0	422,800	99.6
	過年度	1,125,289	449,744	0	675,545	40.0
	計	96,213,443	95,115,098	0	1,098,345	98.9
30	現年度	100,646,682	100,305,098	0	341,584	99.7
	過年度	1,092,309	308,604	0	783,705	28.3
	計	101,738,991	100,613,702	0	1,125,289	98.9

私立認定こども園から給食事業諸経費納付金(給食にかかる電気代・水道代・消耗品費)として、520,000円収入しました。

■支出状況

平成15年6月から供用開始した、給食センターの厨房機器・設備機械等は耐用年数の経過で消耗部品に不具合が生じ、給食センター管理事業の修繕料を3,244,987円支出しました。

■学校給食費 調定額及び収入状況 (R2.5.31現在)

(単位:円)

学校または施設名	調定額		収入済額		不納欠損額		収入未済額	
	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度
福崎小	20,161,404	521,416	19,940,576	167,056	0	0	220,828	354,360
高岡小	3,035,590	10,036	3,035,590	10,036	0	0	0	0
田原小	22,285,390	311,949	22,285,390	100,608	0	0	0	211,341
八千種小	6,403,000	0	6,403,000	0	0	0	0	0
計	51,885,384	843,401	51,664,556	277,700	0	0	220,828	565,701
西中	11,554,796	215,678	11,353,294	146,372	0	0	201,502	69,306
東中	17,238,561	49,838	17,238,561	9,300	0	0	0	40,538
計	28,793,357	265,516	28,591,855	155,672	0	0	201,502	109,844
福崎幼	2,793,220	8,700	2,793,220	8,700	0	0	0	0
高岡幼	487,775	0	487,775	0	0	0	0	0
田原幼	3,799,935	7,672	3,799,465	7,672	0	0	470	0
八千種幼	1,201,675	0	1,201,675	0	0	0	0	0
計	8,282,605	16,372	8,282,135	16,372	0	0	470	0
給食センター職員	698,928	0	698,928	0	0	0	0	0
私立こども園	5,427,880	0	5,427,880	0	0	0	0	0
計	6,126,808	0	6,126,808	0	0	0	0	0
合計	95,088,154	1,125,289	94,665,354	449,744	0	0	422,800	675,545

□効果・達成度

現年度給食費の徴収率は、平成30年度より0.1%減の99.6%となりましたが、過年度給食費の徴収率

は平成30年度より11.7%増の40.0%となりました。また、現年度・過年度合わせて、徴収率98.9%で平成30年度と同じでした。

□課題・改善

今後、給食費の現年度分をできるだけ滞納繰越にしないように早めの対策を講じるとともに、過年度滞納分についても徴収体制の確立・臨戸訪問強化を行い、徴収率の向上につなげていきます。厨房機器等の更新も計画的に実施していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
27,038,000	26,611,425	770,000			25,841,425

**事業名／給食センター給食事業**

◆事業内容(目的・必要性)

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に県内産食材を優先して使用し、歳時記に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ麺やもちむぎ精麦を使用した献立を積極的に取り入れました。そうした福崎町の給食をPRするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝えたり、福崎秋まつりでのパネル展示等を実施したりし広く町民にもPRしました。

一日平均給食供給人員は約2,520人で給食延べ人員は、449,316人でした。小学校年間180日、中学校年間177日、認定こども園（1号認定）年間168日、（2号土曜日保育無）年間230日、（2号土曜日保育有）年間268日、（3号認定）年間268日の給食を提供予定でしたが、3月に新型コロナウイルス感染症にかかる学校臨時休業等があり、給食を提供できなかった日数分の給食費を還付しました。

平成30年度に引き続き調理・配送業務を民間委託し、学校給食運営の合理化を図りました。

【コーベフーズ株式会社：57,900,379円】

■給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で99,610,099円です。

給食原材料費内訳 (単位:円)

区 分	金 額
副 食 費	63,215,158
米 飯 代	16,188,063
パ ン 代	3,639,415
牛 乳 代	16,567,463
計	99,610,099

■地産地消の取り組み

- ・「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」の中の「地産地消の推進・食文化の継承」に基づき、給食センターでは、学校給食における地元野菜（米含む）目標地産地消率（重量ベース）を42%と定め、農林振興課と連携し生産者の協力を得ながら開発した地元産じゃがいもと玉ねぎを使用した「じ

「やがいもコロケ」、地元産さつまいもを使用した「さつまいもコロケ」や地元産にんじんを使用した「にんじんゼリー」を令和元年度も給食に提供し、地産地消率アップを図りました。給食における地産地消率は49.7%と平成30年度よりも2.2%増となり、全体の地元野菜の使用量は、706kg増となりました。また、7月には「夏野菜カレー」、12月には「冬野菜のカレースープ」や「クリームシチュー」を実施し、福崎町産の野菜を中心に使用した給食で地産地消をPRしました。福崎町産大豆で作られた「手作りみそ」を使用したみそ汁を年2回提供し、提供時には学校訪問を行い、児童・生徒に説明しました。

- ・福崎町特産「もち麦」の利用促進については、週1回のパン給食の日には、もちむぎ粉を10%ブレンドした「もちむぎコッペパン」、週4回のご飯給食の日のうち、毎週水曜日には、もちむぎ精麦を8%ブレンドした「もちむぎご飯」を提供しました。また、汁物に「かやくもちむぎ麺」や「もちむぎそうめん汁」を取り入れ、毎年リクエストが多く好評である「冷やしもちむぎ麺給食」を運動会シーズンに実施して、もち麦の使用に努めました。

□効果・達成度

給食にもち麦を積極的に取り入れることで児童・生徒にもち麦に親しみをもってもらい、給食だけでなくもち麦の良さを広く情報発信することにより、家庭でももち麦を広く活用してもらえるようPRできました。また、毎月、町のホームページに給食献立表及び給食物資の産地情報を掲載して、食の安全性を啓発しました。

□課題・改善

今後も地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やし、野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、給食に福崎町産の野菜の取り入れをさらに増やす努力をしていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
183,316,000	178,051,944	232,000		95,635,098	82,184,846

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
5.保健体育費	3. 町民グラウンド 管 理 費	11,642,000 <sup>円</sup>	11,305,214 <sup>円</sup>	336,786 <sup>円</sup>

町民グラウンドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されました。

**事業名／町民第1, 第2グラウンド管理事業**

◆事業内容(目的・必要性)

町民第1, 第2グラウンドを安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。

- ・第1グラウンドナイター照明灯漏電遮断器設置工事 418,000円 (請負業者：福崎電業(株))
- ・第1グラウンドナイター照明灯ランプ取換工事 143,000円 (請負業者：福崎電業(株))
- ・第1グラウンド照明灯分電盤不具合箇所補修工事 124,200円 (請負業者：福崎電業(株)) 等

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・清掃委託料 196,840円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）
- ・電気設備管理委託料 117,600円（請負業者：小國電気設備管理事務所）
- ・草刈等委託料 102,690円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）

□効果・達成度

第1グラウンドでは、照明灯設備の補修等を行い、より快適に夜間のスポーツ活動を行える環境を整備しました。第2グラウンドでは、グラウンドゴルフを中心に多くの利用がありました。なお、令和元年度社会体育施設(町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、120,133人でした。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H27	H28	H29	H30	R1	目標(R5)
社会体育施設利用者数	120,038	111,821	122,156	126,931	120,133	135,000

※町民グラウンド、スポーツ公園、体育館利用者数

□課題・改善

第1グラウンドは、平成30年度に第1グラウンド改修工事を実施し、利用者がより安全で快適に利用できるようになりました。今後は、グラウンドの状況をみながら効率的な整備方法を研究します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,411,000	3,355,951			553,770	2,802,181

### 事業名／スポーツ公園管理事業

#### ◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

#### ◆事業の成果

■施設修繕を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。

- ・スポーツ公園照明灯安定器・ランプ取換工事 356,400円（請負業者：福崎電業(株)）
- ・スポーツ公園漏電遮断器設置工事 140,400円（請負業者：福崎電業(株)） 等

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 282,000円（請負業者：セコム(株)加西営業所）
- ・芝生管理委託料 594,000円（請負業者：中塚造園土木）
- ・電気設備管理委託料 130,800円（請負業者：小國電気設備管理事業所）
- ・清掃委託料（第2体育館） 55,440円（請負業者：ハクロ福(株)）
- ・消防設備点検委託料（第2体育館） 8,502円（請負業者：神姫防災）

□効果・達成度

多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成に貢献することができました。

□課題・改善

ゲートボール場が調整池となっていますが、県による砂防工事が完了したため、ゲリラ豪雨や台風時に土砂が流れ込むことはありませんでした。今後のゲートボール場の活用方法については大会時などの駐車場としての使用や無料で開放してゲートボールやグラウンドゴルフなどの練習場として使用するな

ど検討していきたいと思えます。ソフトボール場は表層部の真土が雨による流出や飛散により、傷みが目立つため、土の入れ替え、整備の必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,355,000	4,277,748			932,910	3,344,838

### 事業名/町民第3グラウンド管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<草>	施 策	町の取り組み
VI まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総◆取組内容	浄化センター周辺の修景施設を含めた公園利用	

#### ◆事業内容(目的・必要性)

町民第3グラウンド(さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場)を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・器具修繕・点検・清掃等を実施しました。

#### ◆事業の成果

■施設改修工事を行い、より便利に利用できるようになりました。

- ・さるびあドーム時計設置工事 226,800円(請負業者:福崎電業(株))
- ・さるびあドーム案内看板設置工事 726,000円(請負業者:播州道路施設(株))

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 141,000円(請負業者:セコム(株)加西営業所)
- ・電気設備管理委託料 67,920円(請負業者:小國電気設備管理事務所)
- ・清掃委託料 286,100円(請負業者:(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・消防設備点検委託料 19,620円(請負業者:株消防装備)

#### □効果・達成度

さるびあドーム・スケートボード場・遊具広場は、幅広い世代が活動できる複合施設として、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティに貢献できました。さるびあドームまでの案内看板を整備し、ドーム内には時計も設置しました。それによってより便利に利用できるようになりました。

#### □課題・改善

ドーム内グラウンドについては、定期的な散水に加え、スポーツトラクターでの整備に努めています。今後も引き続き効率的な整備方法を研究します。スケートボード場については、利用者が増えています。利用者の未登録やヘルメットの未着用が目立ちます。今後においては、監視体制を強化し、安全で快適に利用できるように努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,231,000	3,159,383	420,000		1,421,500	1,317,883

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	4.学校施設社会開放費	800,000 <sup>円</sup>	729,761 <sup>円</sup>	70,239 <sup>円</sup>

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

**事業名／学校施設社会開放事業**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
◆ 取組内容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
◆ 取組内容	各団体への施設開放による支援	

**◆事業内容(目的・必要性)**

地域住民のスポーツ振興を図るため、町内の小・中学校の運動施設（体育館・グラウンド）の積極的な開放を実施しました。

**◆事業の成果**

■学校施設社会開放 学校別集計表

		福崎小	高岡小	田原小	八千種小	西 中	東 中	計
体育館	使用回数(回)	446	311	488	317	213	308	2,083
	使用人数(人)	9,640	4,745	16,738	8,640	5,200	5,815	50,778
	使用料(円)	74,560	34,380	96,450	253,540	83,740	109,180	651,850
グラウンド	使用回数(回)	172	95	38	199	2	3	509
	使用人数(人)	5,614	1,890	4,655	7,342	410	7,800	27,711
	使用料(円)	0	0	11,660	148,900	1,060	0	161,620

■学校施設使用許可申請書作成 (30冊)

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習の活動の場と機会を提供しました。

スポーツクラブ4団体や子ども会のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

授業等に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
800,000	729,761			729,761	

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	5.体育館運営費	13,229,000 <sup>円</sup>	12,643,368 <sup>円</sup>	585,632 <sup>円</sup>

生涯スポーツの拠点として各年代層にあったスポーツを選択できるよう、年間を通じて様々な教室・大会・講習会を開催しました。また、キャンプ等を通して青少年の健全育成に努めました。

施設において、より安全で効率的なスポーツ活動の場を提供するために、設備の充実・整備を行いました。

**事業名／町民体育館管理事業**

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総◆ 取組内容	スポーツ施設の充実	
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
総創◆ 取組内容	各種教室及びスポーツ大会の充実	
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総◆ 取組内容	職員のスキルアップ(多様なニーズに対応)	

**◆事業内容(目的・必要性)**

第1体育館を安全かつ快適に利用していただくため、施設修繕を行いました。既設のトレーニング器具は経年劣化により修理の回数も多くなっていたため、スポーツ振興くじ助成金を活用し、トレーニング器具3台を設置し、トレーニング室の充実化を図りました。また、地域住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティ・スポーツ振興を図るため、スポーツ大会・教室等のプログラム向上に努めました。

**◆事業の成果**

■スポーツ振興くじ助成金を申請し、トレーニング器具を3台設置しました。

- ・福崎町第1体育館トレーニング器具設置 4,372,500円(設置業者：(有)加西平和堂スポーツ)

■施設器具修繕を行い、より快適に施設利用ができる環境を整えました。

- ・鉄扉調整工事 132,840円(請負業者：(株)モリ)
- ・トレーニング機器修理代(バックエクステンション) 73,440円(請負業者：(有)加西平和堂スポーツ)
- ・自動火災報知設備受信機取替工事 442,800円(請負業者：(株)消防装備) 等

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・年末清掃委託料 297,847円(請負業者：ハクロ福(株))
- ・自動ドア保守点検委託料 46,200円(請負業者：寺岡オート・ドアシステム(株))
- ・消防点検業務委託料 23,980円(請負業者：(株)消防装備)
- ・ホームページ更新委託料 900,000円(請負業者：システム(株)) 等

\*町民体育館利用人数 (単位：人)

年度	球技室	体育室	卓球室	トレーニング室	第2体育館	計
29年度	13,333	6,580	6,832	8,520	6,873	42,138
30年度	15,380	5,443	6,247	10,068	7,300	44,438
元年度	13,756	5,138	5,111	9,991	7,149	41,145

■各種大会を開催し、町民の健康づくり・コミュニケーションづくりに貢献しました。

大会名	期日	場所	対象	参加
マスターズソフトボール大会	4/14	第1グラウンド	35歳以上の男女。チーム年齢合計が360歳以上で構成	雨天中止
町民親善ゲラントゴルフ大会	5/11	第3グラウンド	誰でも可	52チーム
山菜ハイキング	5/25	鉢伏高原	誰でも可	46人
カヌー教室	6/30・8/10	野外活動センター	町内小学4～一般	18人・11人
ふれあいワンデー生活塾	7/21	野外活動センター	町内小学1～3年生	48人
アウトドア生活塾	7/27～28	野外活動センター	町内小学4～6年生	20人
自治会親善ソフトボール大会	8/17～22	第1グラウンド他	自治会でチームを編成	30チーム
地域職域ソフトボール大会	11/17	第1グラウンド	町内在住在勤者	9チーム
子ども遊びフェスティバル!	1/18	第1体育館	町内幼児園児以上及び保護者	約200人

■スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

講習会名	期日	場所	対象	参加者
スケボーチャレンジ	11/30 12/7	スケートボード場	町内小学生・保護者	11人
ヴィッセル神戸キッズ サッカークリニック	2/8	第3グラウンド	町内幼児園児（年長） 町内小学生	47名

■健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

教室名	対象	曜日	時間	1期	2期	3期
貯筋教室	65歳以上	水曜日	9:30～11:00	22人	21人	20人
夜のフィットネス教室	誰でも可	木曜日	18:00～19:30	18人	17人	18人
からだのびのび教室	誰でも可	火・金曜日	9:30～10:15	78人		
健康ソフトバレークラブⅠ	誰でも可	火曜日	10:15～11:45	33人		
健康ソフトバレークラブⅡ	誰でも可	金曜日	10:15～11:45	27人		
にこにこスポーツ教室	誰でも可	木曜日	13:30～15:00	15人		
いきいき教室	誰でも可	火曜日	13:30～15:00	11人		
ボールウォーキング教室	誰でも可	木曜日	10:00～11:30	32人		

□効果・達成度

行事や教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができ、また誰もが気軽に参加できる健康志向の教室を新たに増やし、多くの方の健康維持増進に努めました。

スポーツ推進委員・高齢者・大学生が連携し、子ども達と活動する多世代交流事業は年々参加者が増え成果を上げています。

□課題・改善

行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。

参加数が減少している行事を検証し、運営の改善及び新たな行事の展開等検討していく必要があります。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
12,848,000	12,312,968			6,454,882	5,858,086



## 事業名／地域スポーツ奨励事業

### ◆事業内容(目的・必要性)

地域の健康づくり、コミュニケーションづくりを目的に、各種スポーツイベントの運営に係る経費の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及びスポーツクラブにおける県主催大会の出場に要する経費の補助を行いました。

### ◆事業の成果

■スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。

- ・福崎小学校へ 48,000円      ・田原小学校へ 48,000円      ・高岡小学校へ 28,800円
- ・八千種小学校へ 48,000円      ・福崎東中学校へ 28,800円      ・福崎西中学校へ 28,800円

■スポーツクラブ連合補助金を交付しました。

- ・スポーツクラブ連合補助金 50,000円

### □効果・達成度

スポーツクラブを支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。

### □課題・改善

スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
381,000	330,400				330,400

## IV 学識経験者の意見

## (1) 就学前の子育て支援事業

- ① 福崎町子ども子育て支援事業計画を継承され、令和2年度から第2期子ども・子育て支援事業計画を策定されたことは、福崎町の明るい未来が予測できる。  
この計画では、幼児教育・保育の無償化対応をはじめとした子どもの健やかな成長支援に取り組んでいる。
- ② システム・業務委託に費用がかかるが、子育て世帯の経済的負担軽減に寄与し、結果として、福崎で子どもを産み、安心して育てることができるという決意につながれば、福崎の発展に期待できる。
- ③ 子ども・子育て会議の開催は、評価したい。
- ④ 少子化の取り組みとして、赤ちゃん誕生時に、親が感動するお祝いを考えてほしい。
- ⑤ 保育所費では、保護者のニーズに合わせた事業で喜ばれていると思う。
- ⑥ 入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営管理に努めている。
- ⑦ 保護者の多様なニーズに対応して、延長保育事業や一時預かり事業を実施されたことで、保護者の不安が軽減し喜ばれていると思う。
- ⑧ 町内研修の内、保育環境研修の回数が、昨年度より2回多く実施されており、研修機会が増えることで、教育・保育の質の向上に繋がっていくと考える。
- ⑨ 低年齢児の保育需要が高まっていることに対して、保育教諭の確保が進んでいることは喜ばしい。
- ⑩ 園児送迎バスの運行について、利用者は少ないようだが、保護者のニーズを大切にしていきたい。
- ⑪ 子どもの心身ともに健やかな成長は、未来の福崎町を輝かせる材料だと思う。延長保育事業や一次預かり事業では、利用者も多く、保護者が助かっている（色々な負担の軽減になっている。）。
- ⑫ 子ども子育て支援センター事業の年間延べ利用者数、子育て相談件数ともに増えており、良い方向に進んでいる。
- ⑬ 保健センターとの連絡を密に行われたこと、子育て中の親子の気持ちに寄り添い、悩みを共有されているのは、保護者にとって安心できる取組だと思う。
- ⑭ 核家族の多い中、地域の高齢者との世代間交流は、継続され、増えることを祈念している。
- ⑮ 子ども子育て支援の拠点が主体的に活動できることが非常に重要である。産前から保健センターとの連絡が密になり施設利用が進み、子育て親子が交流でき、また、保護者と子どもの交流促進が図られているとのことであり、子育て中の親子の気持ちに寄り添い、子育てグループ自身の企画・立案の活動や、家族参加、父親・祖父母の参加や地域の世代間交流ができていることは、大変明るい見通しとなり、継続的取

り組みが楽しみである。

- ⑩ 学童保育所は、平成 28 年度から、開園時間を 1 時間延長し、保育内容を充実されており、保護者からの期待も大きいと思う
- ⑪ 学童保育所利用者が増加しているのであれば、新たな場所の確保に努力してほしい。

## (2) 教育委員会関係事業

- ① 諸会議の回数を増やし、現場等に出向き実態把握に一層努めてほしい。
- ② 「志の種をまく福崎町の教育」の実現に向け、地域住民の方の要望に対応され、諸問題に対応されたことに敬意を表します。
- ③ 文化活動についても、児童及び生徒の積極的な活動支援を行っていただきたい。
- ④ 福崎西中学校、福崎東中学校の生徒が、理科・数学甲子園ジュニア 2019 に参加されており、理数分野で児童、生徒の可能性が広がっていくとことも期待している。
- ⑤ 不登校指導員の配置、教育支援委員会での支援を要する児童生徒の実態把握等で、不登校児童生徒に対せるきめ細やかな対等と特別支援学級への適正な入級判定ができたとのことであり、感謝する。
- ⑥ 不登校生徒や支援事業などに対処した委員会での取り組み、学力向上に尽力してほしい。
- ⑦ 昨今の、支援が必要な児童生徒への個々の対応、進路判定と指導計画作成については、当事者と保護者のみの課題ではなく、その子どもを包み込むクラス、指導する教員、学校全体の課題であり、また、福崎の子どもたちがどのようにあたたかい心で人権意識を持ち、かつ学習効果が保障された環境で育つことができるのかに大きく関わってくる
- ⑧ 支援の必要な子どもがまわりに迷惑をかけている存在という意識ではけっしてなく、共に学び共に育つインクルーシブ教育、ユニバーサルデザインの授業に取り組めることが、健全な人間の人格完成のため、子どもたち全員のためになる見直しにつながるという視点から、本人個別の特化した支援と、全体の中での支援に引き続き取り組んでいただきたい。
- ⑨ 心身共に健康で積極的に行動できる児童生徒に寄り添った教育を、と願う。

## (3) 学校関係事業

- ① 遠野市友好交流事業は、福崎町の先人の功績を知るとともに、東日本大震災での、自然の脅威を再認識するためにも、意義ある事業と考える。
- ② この友好事業は、6 年生の児童たちの人気もあるようで、感動を与える事業だと評価する。
- ③ 町を愛し、文化の継承をし、代表として文化の担い手となる意識を持てることは、

すばらしいことである。これらの経験が中学校教育においても活かされ、郷土愛を育み続けて福崎町の次世代を育てることに夢を感じる。

- ④ 学校生活を安全にとの思いで補修事業を計画的な展開で実施されていることは評価したい。
- ⑤ 施設の老朽化等の補修事業、特別支援学級の児童生徒の指導等、苦勞な部分が山積している。それらの適正な管理運営に期待している。
- ⑥ 福崎小学校北校舎の長寿命化改修工事の様子を見学した。多方面において工夫されており、安全に工事が進行することを願っている。
- ⑦ 老朽化による補修の必要性に基づき、計画的な補修事業が行われている。
- ⑧ 新型コロナ感染予防対策を経て、新たに必要な環境整備があると推察できるので、今後の柔軟な追加と見直しも必要であろう。換気、室温調整、特別教室や更衣室などで密を避けるために必要な改修など、適正かつ緊急対応が可能である管理運営が望まれる。
- ⑨ 空調設備も稼働し、快適な学校生活が送れているようだ。
- ⑩ 特別支援が必要な児童生徒にかかる学習支援員及び介助員については、該当生徒の個別計画に基づき、細やかな配慮と配置の必要性がある。教職希望の大学生の活用は、互いに学びとなり、積極的に連携していくことを願う。
- ⑪ 特別支援教育において、環境整備が行われている。継続と運用を望む。
- ⑫ 就学援助については、今後、新たな問題も起きてくることが予想されるが、公平性を保ちつつ、すべての子どもたちが困り感を持たずに学べるよう、引き続き適正運用を望む。

#### (4) 給食センター事業

- ① 地産地消率が向上しているのは、食の安心・安全という観点からも喜ばしい。
- ② 中学校までの給食事業が実施されているのは、栄養バランスや食育の面からも、大変良いことだと考えます。
- ③ 民間委託を実施し、給食の質の維持・向上を図られていることが保護者らの安全、安心につながっている。

#### (5) 社会教育事業

- ① 吉識雅夫科学賞を創設されて12回目を迎えて、地域の方々に広く周知をするために、利用者が増えている図書館を利用されたのは良い方法だと思う
- ② 社会教育委員の活動、成人式、吉識雅夫科学賞の事業は、関係者だけの事業でなく、町民全体が関心を持つように広げて行ってほしい。
- ③ 研修会、フェスティバル開催で意識向上はできているが、子どもたちの有害環境の改善、声かけ運動は継続し、周知してほしい。

- ④ スクールヘルパー、地域ヘルパーの方の見守りや、土曜、サマーウインターなどの教育支援で地域全体が一体となって子どもたちの健全育成に取り組んでいただけることをありがたく思う。
- ⑤ 福崎町をよりよくするための、自主的なグループを育成していく方向はすばらしい。ボランティア活動の結果を享受する側のメリットはもちろんであるが、自主的に行う側の生きがい（存在理由）や自己肯定感、活動による健康面でのメリットも計り知れない。
- ⑥ 啓発事業として、フェスティバルや冊子、DVD 等で、意識を高めるきっかけとなるようさまざまな取り組みを進めている。

今後の方向として、特に、インターネット上の人権侵害についての学習支援は非常に重要である。スマホなどの書き込みや、学校現場での実情を保護者、一般住民と共有すると共に、子どもたちの発達段階と、地域の状況に合わせた教材開発や家庭学習で用いることのできる動画配信（福崎町民が視聴することのできる URL を伝達する）などを学校現場の先生方と連携し協力しながら進める必要もあるかと思われる。その手法は、今年度の新型コロナ感染予防対策において、教職員も保護者もオンラインでさまざまな可能性とスキルを身に着けた経験を活かすことができるであろう。
- ⑦ SNS、スマートホン等の利用について、小、中学生に、自分たちで考えるルールづくりも必要であると考えます。

## (6) 芸術・文化事業

- ① 老人大学の受講生が年々増加しており、学習の場と交流の機会の場として、定着している。
- ② 施設の開放で利用者が活動の場が広がって、高齢者の居場所づくりの一助となっている。さらに充実した事業にしてほしい。
- ③ サルビアセミナー10回開催のうち、5回を公開講座にされたり、講座の方法を工夫されたことがよかった。
- ④ 築50年となる文化センターの耐震化、バリアフリー化が問題課題ならば早急に取り組んでほしい。
- ⑤ 文化センター（中央公民館）バリアフリー化と、耐震化は、喫緊の課題であり、大阪府高槻市の地震時の塀の事故を振り返っても、何か起きてからでは大変である。施設のあり方全体の検討も大きな課題と思われるが、決定と対応が急がれる。安全面、利用面での向上を期待する。
- ⑥ この場所の幅広い世代の利用があるのは、地域の人との密着度が高く、親しみを感じる施設だと思う。
- ⑦ エルデホールの活用は、このコロナ禍で問題が多いが、町民がもっと気軽に活用

できるように考えてはどうか（アンケートをとる等）。

- ⑧ エルデホールの屋外広場は魅力的だ。文化的行事等での活用も検討されてはどうか。
- ⑨ 令和元年度事業（令和2年度評価）については、大変難しい対応に追われたと推察される。（令和2年度事業においては、さらに悩ましい事態であったと思われる。）
- ⑩ 自主事業については、出演者決定、開館期間短縮、他市町との連携などの困難さから集客人数の半減が報告されているが、貸館事業についても、次年度、次々年度、さらに大きな見直しと判断が必要になるろう。
- ⑪ 芸術・文化事業は、余裕がある時に行うのではなく、このような時世であるからこそ、町民の心の健康のために、より意欲的に前向きに積極的に、感染予防に最大限の注意を払い、町民が強い意識を持って参加し、町民の心が元気になるような、ピンチをチャンスにする企画にチャレンジしたいものである。

#### （7）図書館事業

- ① 図書館行事で、パネルシアターをされたのは、子ども、大人も楽しめてよかったと思う。
- ② 図書館の特色あるイベントやボランティア活動の活性化等、一層環境づくりに努めてほしい。

#### （8）文化財事業

- ① 福崎町では、文化財とは、わたしたちの身の周りにある未来に残したい「宝物」と考えられており、とても古代へのロマンが感じられる取組であると考えている。
- ② 福崎町の文化ゾーンとして、多方面の中心的施設。観光面も町内外から来場者も多く、活性していることを評価したい。今後、辻川だけにとどまらず、高岡・八千種地区での活性化に応援したい。
- ③ 中島地区での古文書の整理では、新しい取り組みで、良かったと思う。他地区への広がり期待している。
- ④ 三木家住宅・旧辻川郵便局の新たな活用として、展示施設の一般公開や宿泊施設としての運用等、新しい発想での文化財保護の可能性に期待が膨らむ。
- ⑤ 界限散策マップ、講習会と合わせて、次年度以降の事業となるであろうが、ぜひとも宿泊施設に福崎在住在勤者が安価で利用でき、福崎の魅力を知人にも伝え広げることができるよう、アフターコロナの文化財保護と観光を合わせた形を模索しチャレンジすることを期待する。
- ⑥ 福崎町文化財マップ、辻川界限散策マップを活用した、文化財と景色を楽しみながら行うことができる事業を計画してみてもどうか。

## (9) 社会体育事業

- ① 自然環境に恵まれ、工事も整い、利用しやすくなった有益な施設である。山小屋は、堀こたつが設置されても冬季はなかなか個人利用に踏み切れないと思われるが、ソロキャンプもトレンドであるし、今後、興味を引くような面白いイベントで、利用が増えることを期待する。
- ② 少しずつ利用者が増えているなら、将来のアクセスの充実をお願いしたい（道路拡幅）。
- ③ 高齢者に対応した事業なので、利用者には喜ばれるが、この事業で世代間交流を考えてはどうか。
- ④ スポーツ功績賞受賞者に多くの生徒がいることは素晴らしい。
- ⑤ ナイター照明灯等の設置など、充実しているのは評価したい。
- ⑥ 学校施設社会開放事業は、生涯学習の場として、地域に根付いた事業となっている。
- ⑦ 体育館にスポーツ振興くじ助成金でトレーニング器具を3台設置され、充実した環境だと思う。多くの人に周知し利用されることを願う。
- ⑧ 心身に支障が出てからの介護に投資するよりも、生涯スポーツを支え、介護予防に投資することは、地域としても、個人としても、前向きで有効なことである。若い世代と高齢者が共に健康づくりに取り組める環境づくりに、大学人間社会学部健康スポーツコミュニケーション学科の学生は貢献でき、学生にとっても大きな学び、喜びとなると思われる。

今後も引き続き、大学と、学生がお世話になっている町が連携し、企画、運営、実施当日の準備・配慮等、できる限りの協力をさせていただきたいと願っている。

令和2年12月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（敬称略）

神戸医療福祉大学教授	野本玲子
兵庫県立福崎高等学校長	長森順子
住民代表	松岡隆子



# V 參考資料

## 平成31年度 福崎町教育の努力目標

平成31年(2019年)4月 福崎町教育委員会

### <基本方針>

## 町民みんなが学ぶ福崎町の教育をめざす

～大地に根を張り、幹を太らせ、枝を広げ、葉を茂らせ、花を咲かせ、大きく伸びゆく福崎の教育～

### <平成31年度重点目標>

#### 1 就学前保育・教育の充実に努める。

- 1) 「福崎町子ども・子育て支援事業計画」に基づき子ども・子育て支援事業の取組を進めるとともに、幼児教育・保育の無償化の円滑な導入を図り、平成30年度に実施したアンケートに基づき「第二期福崎町子ども・子育て支援事業計画」の策定に取り組む。
- 2) 町内の公立認定こども園4園及び私立認定こども園2園において、職員が資質向上のためキャリアアップ研修等へ積極的に参加することで、多様化する保育ニーズに対応するとともに、3歳児からの就学前教育を充実させ、5歳児に取り入れた外国語活動を引き続き実施する。
- 3) 子育て支援センター・西部子育て学習センター・東部子育て学習センターの3ヶ所の子育て支援施設が連携し、子育てに関する情報提供、相談業務を行い、子育て支援機能の充実に努める。
- 4) 集団遊びの創意工夫ができ、豊かな感性や思いやりの心を育てる快適な環境づくりに努める。
- 5) 集団生活や話を集中して聞けるなどの社会性や基本的な生活学習習慣を育てる。
- 6) 興味・関心、意欲・態度、判断力・表現力など、後伸びする力をつける。
- 7) 発達障害の早期発見・早期療育に努め、母子保健事業の各種健診や相談事業との連携を強化するとともに、発達障害児が適切な支援を継続的に受けられるよう、療育支援体制の整備・充実に努める。
- 8) 認定こども園の5歳児と小学校との交流を進め、小1プロブレムの解消に努める。

#### 2 学校教育の充実に努める。

- 1) 豊かな人間性や基本的な生活習慣の向上に努める。
  - ① 「自他の生命」を尊重し、共生社会を皆で生きていく力を養う。
  - ② 生活習慣(起床時間、夕食時間、就寝時間)の確立を進める。
  - ③ 明るく元気に気持ちのよいあいさつができる子を育てる。
- 2) 確かな学力＝「生きる力」と捉え、「知育」「徳育」「体育」「食育」を推進する。
  - ① 学習習慣と意欲・集中力を学校・家庭で共に協力して育て、学力向上に努める。
    - ア) 学力向上プランを実践し、基礎学力の定着と向上に努める。
    - イ) 小中の交流学习を推進し、緊密な連携により、校種間の円滑な接続を図る。
    - ウ) 「福咲学力アップタイム」を継続し、反復学習による基礎・応用力をさらに高める。
    - エ) 学力向上委員会での学力向上に向けた取組を各小中学校で実践し、2020年度から本格実施される新学習指導要領への円滑な移行を見据えた学校教育を推進する。
    - オ) 朝読書や家読及び毎月29日の「フクちゃん読書の日」、3月9日の「サキちゃん読書の日」を推進し、読書習慣を向上させる。
  - ② 地域の歴史や文化財について学習する機会を増やし、郷土についての興味・関心を高め、「ふるさと 福崎」を愛する心を育てる。
  - ③ 町立図書館、青少年野外活動センター、大庄屋三木家住宅、歴史民俗資料館、柳田國男・松

岡家記念館など、社会教育施設との連携を図り、生涯を通じて自ら学ぼうとする意欲や関心を高める学習活動に努める。

3) 人間的なふれあいに基づく生徒指導に努める。

- ① 校長のリーダーシップのもと、全教職員の共通理解を図り、協働実践で指導に当たる。
- ② 福崎町「健全な子どもの育成5つの方針」を周知徹底する。
- ③ 「いじめ防止マニュアル」の実践と体罰厳禁で教職員と児童生徒の人間的なふれあいに基づく生徒指導に努め、児童生徒間では、「互いに支え合う仲間づくり・学級づくり」など好ましい人間関係を築き、社会のルールやマナーを身につけるなどの社会性を育てる。
- ④ 教育相談体制の充実を図り、学校等における諸問題の早期発見・早期対応に努める。
  - ア) 教職員のカウンセリングマインド研修や不登校指導員、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーなどの効果的な活用により、児童生徒及び保護者の悩み等を受け止める相談体制の充実を努める。
  - イ) いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こる、という認識のもとで、定期的なアンケート調査や教育相談により、早期発見し、児童・生徒の力を活用しつつ早期対応・解消に努める。
  - ウ) 不登校・不登校傾向に対しては、保護者や関係機関との連携を密にしながら、社会的自立に向けた早期対応に努める。
  - エ) 問題行動に対しては、その背景にも目を向けながら即対応し、継続的に指導を続ける。また、「ダメなことはダメ」というゼロ・トレランス式指導も堅持する。
- ⑤ 認定こども園と小学校、小学校と中学校の連携を深め、小1プロブレム・中1ギャップの解消に努める。
- ⑥ 児童生徒たちが自らスマホ、SNS、ゲーム機使用に対するルールを設定し実践する。

4) 感動・感激、実感・体感などの体験活動の充実を努める。

- ① 地域の祭事、家事手伝い、ボランティア活動などへの参加を勧め、充実感・達成感及び所属感を味わう体験活動を進める。
- ② 夢に向かう姿勢を育てる。

5) いのちの教育の充実を努める。

思春期支援教室、介護体験、乳幼児保育、里山散策、花栽培などで、人間と自然を愛し、命あるものを慈しむ心を持ち、命のかけがえのなさを実感できる人づくりを進める。

6) 人権教育の充実を努める。

- ① 同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人及びLGBTなど人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。
- ② 不要な携帯電話・ゲーム機の使用・ブログや掲示板への誹謗中傷する書き込みなど、情報モラルに関する指導に努め、人を傷つけたり犯罪に巻き込まれたりしないように周知する。
- ③ 人権フェスティバルを継続開催し、日常生活に人権尊重が定着する人権文化の確立に努める。
- ④ 「福崎町男女共同参画基本計画」に基づく取組により、男性と女性が互いの生き方と相手の人権を尊重し、責任をわかちあいつつ、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に努める。
- ⑤ 学習支援員等を配置し、支援を要する児童生徒の学習面の支援に努める。

7) 特別支援教育の充実を努める。

- ① 一人一人の教育的ニーズに応じた個別的教育支援計画により一貫した教育が行える指導体制の整備に努める。
- ② \*インクルーシブ教育システムを推進するとともに、通常の学級に在籍する発達障害のある、または、その傾向のある児童生徒についても同様の指導体制を整える。
- ③ 介助員等を配置し、支援を要する児童生徒の生活面の支援に努める。

\* 障害のある者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的のもと、障害のある者とない者が共に学ぶ仕組み。

#### 8) 食育を推進する。

- ① 「第2次福崎町食育推進計画」に基づき取組を進める。
- ② 生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の確保、食文化の継承等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を育てる学習を進める。
- ③ 「早寝、早起き、朝ごはん」を奨め、朝ごはんの欠食をなくす取組を継続する。
- ④ 「地産地消」、「不時不食」(旬の食材)、「もちむぎ」などの地元特産物食材利用に努める。
- ⑤ 幼児教育・保育の無償化に伴う給食費徴収事務の円滑な導入を図るとともに、給食費滞納の解消に努める。
- ⑥ 学校だよりや食育通信、PTA会報等で食育の啓発を図る。
- ⑦ 民間委託による給食調理・配送のさらなる充実を図るとともに、引き続き学校栄養教諭による園児・児童・生徒への食指導の充実を図り、安全・安心な学校給食の安定的な提供に努める。
- ⑧ 食事のマナーを守り、感謝の心を持って食事をする園児・児童・生徒を育てる。

#### 9) 学童保育園の活動内容の充実、活動環境の改善を図るとともに、放課後児童支援員認定資格研修等に参加し、指導員の資質向上に努める。

#### 10) 平成30年度に策定した学校施設等長寿命化計画を基に、建設後40年を超えた学校施設の整備を順次実施することとし、今年度、福崎小学校北校舎において長寿命化改良工事のための実施設計を行う。

#### 11) 小学校・中学校の普通教室及び特別支援教室について、平成30年度に発注した空調設備設置工事の早期完成を目指し、児童生徒の夏季における学習環境の改善を図る。

#### 12) 学校業務改善事業を推進する。

- ① 教職員が時間的・精神的ゆとりを持って児童生徒と向き合うことで、教育活動のさらなる充実を図ることができるよう、兵庫県「教職員の勤務時間適正化推進プラン」(平成29年4月策定)に基づき、「教職員の定時退勤日」については週1回以上、「ノー部活デー」については平日週1回、土・日曜日2回以上の完全実施を、教職員の共通理解のもと、町教委・学校をあげて取り組む。
- ② グループウェアを利用して、職員朝礼のペーパーレス化、簡素化を進める。
- ③ 平成29年度に導入した校務支援ソフトを活用し、指導要録その他の電子化等、業務の効率化を図る。
- ④ 平成31年1月に施行した「福崎町立中学校運動部活動ガイドライン」を遵守し、生徒の心身の健全な成長を守り、同時に、部活動の外部指導者活用など、教職員の負担軽減を図る。

### 3 家庭の教育力を高める。

#### 1) 家庭教育学級の開設(認定こども園・小・中学校)

- ① 研修会等により保護者の子育て支援を行う。
- ② 子育てについての親の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応した、学習会や講演会の開催を実施する。
- ③ 奉仕活動やスポーツ大会を開催し、連帯感の育成や子育て情報の共有に努める。

#### 2) ゲームなどのバーチャルリアリティ体験を減らし、ノーゲームデー、ノーテレビデーの取組を進め、家事手伝いの習慣化を図る。

#### 3) 家庭でも食事や団らんの大切さを、可能な範囲で啓発する。

#### 4) 自学自習の習慣の確立を保護者の協力を求めて進める。

#### 4 地域の教育力を高める。

- 1) 「人は環境をつくり、環境は人をつくる」と言われる中、すべての地域住民が子どもたちの健全育成にかかわる取組を進める。
  - ① 研修会、講演会等により、地域住民の青少年健全育成意識を高める。
  - ② 啓発リーフレットの作成や広報車等を活用した啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりに努める。
  - ③ 子ども会活動を各地域で推進する。
- 2) 各種団体に協力を求め、健全育成地域づくりに努める。
  - ① 青少年補導委員会やPTCAの活動を支援する。
  - ② 地域教育推進委員会(県民交流広場)の活動を支援するとともに、委員会相互の連携を図る。
- 3) 自治会研修会の活性化を図る。
- 4) 学校支援地域本部事業の充実を図る。
  - ① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を学校教育に生かす取組を進める。
  - ② 学校支援者が、児童生徒と喜びを分かち合い、自らの生きがいにつながる活動を創造する。
  - ③ 土曜教育支援体制構築事業を利用し、英語を中心とした小学校土曜日教室を校区毎に開講する。

#### 5 いつでも、どこでも、だれでも学びたいことが学べる生涯学習(社会教育)の充実に努める。

- 1) 2人の名誉町民(柳田國男・吉識雅夫)を顕彰し、郷土への愛着と誇りを持つ子どもを育てる。
  - ① 地域の歴史や文化をテーマに優れた研究を行った児童生徒に対し、「柳田國男ふるさと賞」を贈る。子どもたちが、氏の功績や郷土の歴史を再認識する取組を進める。
  - ② 柳田國男ゆかりの岩手県遠野市との友好都市交流事業として、福崎町の児童が遠野市を訪問し、児童交流とともに遠野物語の原風景に触れたり東北大震災の後方支援等を勉強する。
  - ③ 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学分野で優れた究、観察、製作を行った児童生徒に対し、福崎町「吉識雅夫科学賞」を贈るとともに、広く町民に氏の顕彰を図るため、遺族から寄贈された遺品の活用に努める。
- 2) 芸術・文化活動の推進に努める。
  - ① 図書館では、住民の自主的な学習拠点として、蔵書の充実に努めるとともに、快適、安全な利用しやすい図書館を目指す。
  - ② 「福崎町子どもの読書活動推進計画」に基づき子どもの読書習慣が身につくよう、毎月29日を『フクちゃん読書の日』、3月9日を『サキちゃん読書の日』として、学校と連携し各種事業を展開する。
  - ③ 町内小中学生へ配布している「読書ノート」に読書記録を残すことで、読書への関心を高め、楽しんで読書をする環境作りに努める。また、町内の利用者を増やすために大人や中・高生向け行事を実施し図書館来館のきっかけ作りをする。
  - ④ 図書館応援隊を支援し、特色ある図書館活動を推進する。
  - ⑤ 図書館に設置した自習スペースの効果的な活用を図る。
  - ⑥ 図書館の町内在住者の利用を増やすため、大人向けイベントを開催する。
  - ⑦ 蔵書構成の見直しやギャラリーの有効活用により、継続した図書館利用を促進する。
  - ⑧ エルデホールの自主事業は、地域住民の要望に沿ったもの、若者層をターゲットにしたものなど、それぞれのテーマに分け実施する。友の会制度の啓発に努め、より多くの方に自主事業に足を運んでいただくよう情報発信をおこなう。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業の実施や住民が参加できるような企画づくりに努める。
- 3) 地域の歴史文化遺産の掘り起こしに努める。
  - ① 歴史民俗資料館は、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保存・展示に工夫を加え、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。また、平成を振

り返る企画展や、連続講座を継続的に開催する。

② 記念館では、春季・秋季に松岡映丘画稿展を開催し、松岡五兄弟の顕彰をいっそう進める。

③ 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史遺産掘り起こしについて取り組む。

4) 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館等で形成される文化ゾーンを軸とした文化財の保護・活用の推進に努める。

① 6回目を迎える「柳田國男検定」は、初級・中級・上級試験を実施する。検定を通じて、柳田國男の功績を知り、理解を深める。

② 第40回山桃忌は、「文学者としての井上通泰と柳田國男」をテーマにシンポジウム・出雲神楽をエルデホールにて実施する。

③ ひょうご地域創生交付金を活用し、大庄屋三木家住宅では資料整理・展示公開を実施する。また、辻川界隈散策マップ作成、歴史民俗資料館玄関前入口スロープ工事を実施する。

④ 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅が住民に愛され親しみのある施設となるよう各種事業に取り組む。

⑤ 辻川山周辺は、町民の憩いの場として住民が気軽に利用できるよう、整備、広報に努める。

⑥ 地域の先祖の営みを紹介するため、遺跡から読み取れる、当時の生活の紹介や発掘された出土品を展示するなど住民に埋蔵文化財への関心を高める。

5) 社会体育、野外活動などのスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに努める。

① 第1グラウンドの改修に向け、地域スポーツ施設整備助成の申請をする。

② スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体の育成・発展に努める。

③ 総合型地域スポーツクラブのサポートに努める。

④ 各種健康スポーツ教室・大会等の充実に努め、町民の体力向上を図る。

⑤ 自然景観が優れた野外活動センターを住民に周知、利用を促す広報に努める。また、安全・快適に利用いただけるよう、多目的広場の整備を行う。

6) 参加しやすく魅力ある公民館活動の運営に努める。

① 学習や活動を通じて人と人との交流を深めるとともに、学習成果の発表で生き甲斐を高める。

② 町民の要望に応える多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容の充実に努める。

③ 若年世代の参加を図るよう努める。

## **6 開かれた教育委員会の推進に努める。**

1) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い平成27年度に設置した総合教育会議等で、町長部局との連携を強めよりよい教育行政の推進を図る。

2) 所管施設の現状と利用者の要望を認識するために、定期的に所屬長との面談や現場視察をする。

3) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく「事務事業点検評価」を引き続き実施、公表し、住民から広く意見を求めるように努める。

4) 新教育委員会制度に関する研修・研鑽をさらに深め「不易」「流行」を見極める。

## 福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

### (目的)

第1条 福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

### (役割)

第2条 評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

### (定数)

第3条 評価委員の数は、3名程度とする。

### (任期)

第4条 評価委員の任期は、1年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

2 評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

3 評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

### (委嘱)

第5条 教育委員会は、委嘱状を交付する。

### (教育委員会事務事業評価委員会)

第6条 教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

2 委員会は、教育長が招集する。

3 委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

### (守秘義務)

第7条 評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

### (その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成21年7月10日から施行する。